

## 研究所の出版活動

本研究所における共同研究や個人研究の成果は、所内の各種研究会（月例研究会、全体研究研究会、グループ研究研究会など）において報告されるとともに、下記の各種刊行物として公表されている。

- (1) 東京大学社会科学研究所紀要『社会科学研究』（1948年2月創刊、年6回、非売品）……本研究所の機関誌として、個人研究および共同研究の成果の発表の場となっている。現在（1976年度末、以下おなじ）第28巻第6号まで刊行されている。
- (2) 社会科学研究叢書（形式・個人名義の単行本、市販）……1948年から1949年にかけて、社会科学協会の企画により、所員の個人研究の成果を白日書院から刊行したもので、5冊の刊行をもって終り、次項(3)に継承された。
- (3) 東京大学社会科学研究所研究叢書（形式・個人名義の単行本、市販）……所員が個人としてその研究成果をとりまとめたもので、現在第45冊まで刊行されている。
- (4) 東京大学社会科学研究所研究報告（形式・個人または研究会編集、市販）……所員が「グループ研究」として行った調査研究の成果を取りまとめたもので、現在第26集まで刊行されている。
- (5) 東京大学社会科学研究所調査報告（形式・東京大学社会科学研究所編集・発行、非売品）……所員が個人または「グループ研究」として行った調査研究を、中間報告として取りまとめたもの、あるいは最終報告であるが、研究の性格上市販されがたいもので、現在第15集まで刊行されている。
- (6) 東京大学社会科学研究所資料（形式・東京大学社会科学研究所編集・発行、非売品）……所員の調査研究を通して収集された資料を、主として資料紹介を目的として公表しようとするもので、現在第7集まで刊行されている。

なお、所員による資料の公刊が、「東京大学社会科学研究所資料叢書」（第1集・全5冊）の形式を以て行われたことがあるが（『貴族院多額納税者議員互

選人名簿』、御茶の水書房、1970～1971）、以後は、本項目の形式に吸収・統一することとなった。

- (7) 東京大学社会科学研究所文献資料目録（形式・東京大学社会科学研究所編集・発行、非売品）……研究所（所員、資料掛）が作成した文献や資料の目録で、現在第5冊まで刊行されている。
- (8) *Annals of the Institute of Social Science*（形式・東京大学社会科学研究所編集・発行、年1回、非売品、№6まで *Social Science Abstracts*）……主として、所員の「個人研究」「グループ研究」「全体研究」の成果のうち、海外の研究者との交流に有益な論文その他を外国文（主として英文）に翻訳したもので、現在№18まで刊行されている。
- (9) 全体研究の成果の刊行……1960年代以降の全体研究の研究成果をまとめたもので、現在までに、『京葉地帯における工業化と都市化』（東京大学社会科学研究所編、1965）、『基本的人権』（全5巻、東京大学社会科学研究所編、1968～1969）、『戦後改革』（全8巻、東京大学社会科学研究所編、1974～1975）等が刊行され、東京大学出版会から市販されている。
- (10) その他の出版物
  - ①『社会科学の基本問題』（全2巻、東京大学社会科学研究所編、1963）……本研究所の創立15周年を記念して刊行された論文集。
  - ②本研究所の紹介……『東京大学社会科学研究所要覧』（非売品）は、本研究所の沿革・規則・組織・職員・予算・設備・図書・資料・研究の概況・出版物など、本研究所の組織と活動を紹介するもので、約3年ごとに作成され、現在№7（1974）まで刊行されている。*The Institute of Social Science* は、前記『要覧』を簡単にして英訳したものである。また『研究経過ならびに実績』は、共同研究および個人研究の双方について、当該年度の研究計画と前年度の研究経過と実績をまとめたもので、各年度の当初に刊行されている。

# 東京大学社会科学研究所紀要

## 『社会科学研究』

### 第1巻

1号 1948.2.10 2号 1948.4.30

3号 1948.9.10 4号 1949.1.15

矢内原忠雄 創刊の辞……………1号

### 論 説

宇野 弘蔵 社会科学の客観性——マックス・ウェーバーの『理想型』について……………1

内田 力蔵 ベンタムの立法理論研究への序説……………1

林 茂 日本における社会主義研究組織の生誕——明治31年の「社会主義研究会」について……………1

鈴木鴻一郎 日本農業における資本主義の発展——『新封建派』の見解について……………1

高橋 勇治 中国新憲法と基本的人権……………2

大内 力 生産力理論におけるスミスとリスト(1)(2)(3・完)……………2,3,4

塩田庄兵衛 幸徳秋水の思想的転化——明治社会主義運動の方向転換論争をめぐって……………2

有泉 亨 朝鮮婚姻法の近代化……………2

鵜飼 信成 司法権優越制と国会主権の原理——サー・エドワード・コークを中心にして……………3

内田 力蔵 ベンタムとブラックストウン(1)——ベンタムの立法理論研究への序説 その2……………4

遠藤 湘吉 ホッブズ研究序説(1)……………4

佐藤 功 ロベルト・フォン・モールの生涯と学説(1)——ドイツにおける近代国家学の系譜 その1……………4

### 展 望

遠藤 湘吉 国有化とイギリス労働党をめぐって……………2

### 紹 介

鵜飼 信成 バウンド著『行政法』——その発達・手続及び意義……………1

大内 力 カール・カウツキー『労働者保護と農民保護』……………1

嘉治 真三 アメリカよりの寄贈書二篇——R.B.Hall: Area Studies その他……………2

松本 達郎 藤田五郎著『日本近代産業の形成』……………3

竹浪祥一郎 ヴェルガ批判について……………3

U 田中和夫著『英米法の基礎』……………3

嘉治 真三 C.W. ライト著「合衆国経済史」……………4

有泉 亨 イギリスの労働裁判に現れた賃金決定の原理——ランキンの著書によつて……………4

### 資 料

山之内一郎 ユーゴスラヴィヤ連邦人民共和国憲法……………3

学研民主主義特別委員会第四部 労働組合実態調査中間報告——労働組合と民主主義……………3

南原 繁 社会科学研究所の設置について……………1

### 所 報

……………1

……………2

……………3

……………4

### 第2巻

1号 1950. 4. 5 2号 1950.7. 5

3号 1950.10.31 4号 1951.1.31

### 論 説

宇野 弘蔵 『経済学の方法』について……………1

高橋幸八郎 『マニファクチュア』の歴史的形態——資本制生産の端初的存在形態について……………1

高橋 勇治 近代中国ルネサンス(1)(2)——反儒教運動を中心として……………2,4

藤井 洋 ニューディールの信用政策——貸付資金の過充を中心として……………2

遠藤 湘吉 ホッブズ研究序説(承前)……………2

山之内一郎 ヴィンズスキーによるソヴェト法理論の確立(1,完)……………3,4

大内 力 戦後日本農民の財政負担……………3

佐藤 功 ロベルト・フォン・モールの生涯と学説(2,完)——ドイツにおける近代国家学の系譜 その1……………3

鈴木鴻一郎 『総体的価値形態から一般的価値形態への推移』について——宮川実教授に答う……………4

### 時 論

磯田 進 改正労働組合法の若干の問題——アウトサイダー組合・不当労働行為……………1

|                          |                                                     |
|--------------------------|-----------------------------------------------------|
| 研究覚書                     |                                                     |
| 内田 力蔵                    | パウンドの法発展方式について<br>——メーンの法進化論との関係——…… 3              |
| 加藤 俊彦                    | 安田銀行と安田善次郎…… 3                                      |
| 喜多川篤典                    | 「制度」の法的意味について<br>——米谷隆三著「約款法の性格」<br>を読む——…… 4       |
| 学界展望                     |                                                     |
| 有泉 亨                     | 労働法における解釈の問題…… 2                                    |
| 大河内一男                    | 社会政策論争の論…… 2                                        |
| 鵜飼 信成                    | わが国は共和国である・という考<br>え方をめぐって…… 4                      |
| 文献解説                     |                                                     |
| 鈴木鴻一郎                    | 戦後における「資本論」研究文献…… 1                                 |
| 林 茂                      | 満洲事変以降の政治過程(1)…… 4                                  |
| 紹介                       |                                                     |
| 下山 英二                    | 高柳賢三著「英国公法の理論」…… 1                                  |
| 林 茂                      | グウチ・外交並びに治術に関する<br>諸研究 1942年刊…… 2                   |
| 藤田 若雄                    | 吾妻労働法学の基底にあるもの<br>——吾妻光俊著『近代社会と労働<br>法』を読み——…… 2    |
| 竹浪祥一郎                    | チェルヌイシエーフスキイの経済<br>学書…… 2                           |
| 資料                       |                                                     |
| 学研民主主義研究特別<br>委員会第三<br>部 | 教職員適格審査委員会および公職<br>適否審査委員会の分析…… 1                   |
| 書 評                      |                                                     |
| 中木 康夫                    | サニャック「近代フランス社会の<br>形成」——コルベルティスム研究<br>の最近の一水準——…… 3 |
| 磯田 進                     | 川島武宜・渡辺洋三著「土建請負<br>契約論」…… 4                         |
| 氏原正治郎                    | ILO Action Against<br>Unemployment …… 4             |
| 第3巻                      |                                                     |
| 1号                       | 1951.9.10                                           |
| 2号                       | 1951.12.28                                          |
| 3号                       | 1952.6.30                                           |
| 4号                       | 1952.7.30                                           |
| 論 説                      |                                                     |
| 宇高 基輔                    | 再生産論と恐慌との連繫について<br>——山本二三九著『恐慌論研究』<br>によせて——…… 1    |

|         |                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------|
| 佐藤 功    | 政治と憲法——ビスマルクの憲法<br>思想 ドイツにおける近代国家学<br>の系譜 その2——…… 1 |
| 遠藤 湘吉   | 減税について——トマス・ペイン<br>にふれつゝ——…… 1                      |
| 磯田 進    | 村落構造の『型』の問題…… 2                                     |
| 氏原正治郎   | 所謂「常用工」と「臨時工」につ<br>いて——わが国労働経済の一問題<br>点——…… 2       |
| 有泉 亨    | 労働基本権の保障について…… 3                                    |
| 宇野 弘蔵   | 『資本論』における恐慌理論の難<br>点…… 3                            |
| 小山 博也   | 条約改正をめぐる初期政党…… 3                                    |
| 藤井 洋    | 国家独占資本主義としてのニュー・<br>ディール（遺稿）…… 4                    |
| 鵜飼 信成   | アメリカ行政法の展開…… 4                                      |
| 展 望     |                                                     |
| 末延 三次   | アメリカ法研究の方法について…… 4                                  |
| 嘉治 真三   | アメリカに於ける地域研究に就い<br>て…… 4                            |
| 内田 力蔵   | アメリカにおけるパウンド法学の<br>ある評価について——一つのおぼ<br>えがき——…… 4     |
| 実態調査    |                                                     |
| 宇野 弘蔵   | 長野県西筑摩郡王滝村調査報告…… 2                                  |
| 鈴木鴻一郎   |                                                     |
| 加藤 俊彦   |                                                     |
| 武田 隆夫   |                                                     |
| 遠藤 湘吉   |                                                     |
| 大内 力    |                                                     |
| 紹介      |                                                     |
| 近江谷左馬之介 | 二つの窮乏化理論——カウツ<br>キーとトロコンスキー——…… 1                   |
| 資料      |                                                     |
| 鵜飼 信成   | 大学と共産主義者——カリフォル<br>ニア大学事件の判決について——…… 1              |
| 高橋幸八郎   | 1848年の農民問題…… 1                                      |
| 林 茂     | 満洲事変以降の政治過程(2)——文<br>献解説——…… 1                      |
| 林 茂     | 貴族院の組織とその性格——貴族<br>院令起草者の意図したもの——…… 2               |
| 内田力蔵訳   | パウンド「アメリカ法の発展とそ<br>のイギリス法からの離脱点」(1)<br>(2・完)…… 2,3  |
| 高柳 信一   | ヘフター「19世紀におけるドイ<br>ツ自治行政」…… 3                       |

# 第4巻

1号 1952.11.20 2号 1954.1.25

3号 1954.2.25 4号 1954.5.30

## 論説

加藤 俊彦 日本勸業銀行の成立(1), (2)…………… 1, 2

大内 力 農民層の分解にかんする一考察…………… 1  
近江谷左馬之介

高柳 信一 ブロイセン地方自治制の生成とその  
特質(1)…………… 1

林 茂 日独伊三国同盟成立の経緯(1)——  
主として日本側資料による一つの  
覚え書き…………… 2

潮見 俊隆 漁業労働関係の特質——その 1  
とくに歩合制の問題を中心にして…………… 2

溪内 謙 ソヴェト行政における統制組織の  
発展——官僚主義克服過程の一考察…………… 3

藤田 勇 ネット第一期の契約法について  
——過渡期の法に関する考察——…………… 3

藤田 若雄 「組織的強制」の社会的性格——  
ユニオン・ショップ制の研究…………… 4

石田 雄 「家族国家」観の観念構造——政  
治構造へのアプローチとして…………… 4

## 叢説

高橋 勇治 中国におけるブルジョア民族解放  
運動の本質と限界…………… 3

## 研究ノート

藤田 若雄 戦後労働政策の特質と経営協議会  
——労働協約研究覚書…………… 1

江守 五夫 年齢階梯制ならびに自由恋愛に関  
するH・シュルツの学説について…………… 4

## 展望

有泉 亨 住宅立法の問題点…………… 2

## 調査

松本 達郎 絹・人絹織物業における労働事情  
——秩父織物業について…………… 2

## 紹介

外尾 健一 フランス労働法の概念と性格——  
デュラン「労働法要論」の書評に  
代えて…………… 1

福島 新吾 警察権限及び手続きに関する王立  
委員会報告(1929年)——警察  
権の強化と小市民の批判…………… 2

## 資料

マチアス・ラコシ わが人民民主主義の道…………… 3  
竹浪祥一郎訳

長坂 聰 ベルンシュタインの『金融資本論』

批判をめぐって…………… 4

## 書評

暉峻 衆三 大島清著『農業問題序説』…………… 2

# 第5巻

1号 1954.7.30 2号 1954.8.30

3号 1954.10.20 4号 1954.12.20

## 論説

嘉治 真三 アメリカ合衆国におけるセクショ  
ンとリジョン…………… 1

福島 新吾 戦後日本の警察と治安…………… 1

石田 雄 「家族国家」観の政治的機能——  
「形成期における『家族国家』観  
の構造と機能」第3部…………… 2

岡田 与好 イギリス・マナー崩壊の基本的特  
質(1)(2)——農業における資本主義  
形成の歴史的前提…………… 2, 3

吉野 悟 古代ローマにおける拿捕の構造(1)  
(2)——古代ローマ法における支配  
・責任・債務の展開 第1部の 1,  
2…………… 3, 4

磯田 進 農村における擬制的親子関係につ  
いて(1)(2)——特に村落構造との関  
連において…………… 3, 4

鈴木 圭介 アメリカ農業の地帯的構造——農  
業における資本主義発達の若干の  
問題について 第1部…………… 4

## 研究ノート

江守 五夫 年齢階梯制度下における婚姻と親  
族組織の形態に関するH・クノー  
の学説について(1)…………… 4

## 論評

宇野 弘蔵 『資本論』における利子論について  
——三宅義夫氏の非難に対する弁  
明…………… 1

## 資料

山之内一郎 クリコフ船長事件の鑑定書——ソ  
ヴェト法における公船の性質およ  
びその他について…………… 1

江守五夫訳 A・H・ポスト『民族学的法学研  
究序説』…………… 2

労働協約研 スイス・バーゼル地方化学産業統  
究会訳 一労働協約——外国労働協約資料



|                                             |   |
|---------------------------------------------|---|
| (1) —————                                   | 2 |
| 労働協約研究会誌 フランス家事使用人の全国労働協約——外国労働協約資料(2) ———  | 3 |
| 労働協約研究会誌 ハンブルグ地方金属産業基本労働協約——外国労働協約資料(3) ——— | 4 |
| 書 評                                         |   |
| 磯田 進 本多淳亮『米国不当労働行為制度』……                     | 1 |
| 大島 太郎 平野義太郎著『国家権力の構造』……                     | 3 |
| 戸原 四郎 エルスナーの恐慌論……                           | 4 |

## 第6巻

|              |               |
|--------------|---------------|
| 1号 1955.2.28 | 2号 1955. 5.30 |
| 3号 1955.7.30 | 4号 1955.10.30 |

### 論 説

|                                                            |      |
|------------------------------------------------------------|------|
| 鈴木鴻一郎 『簡単な価値形態』(1)(2)——久留間皎造教授の所説にふれて——……                  | 1, 2 |
| 吉野 悟 古代ローマ法に於ける拘束行為の構造——古代ローマ法に於ける支配・責任・債務の展開 第2部——……      | 1    |
| 磯田 進 農村における擬制的親子関係について(3・完)——特に村落構造との関連において——……            | 1    |
| 鶴飼 信成 地域行政の構造……                                            | 2    |
| 有泉 亨 労働協約の余後効について——労働協約覚え書の1——……                           | 3    |
| 大内 力 価値法則と日本農業——鈴木鴻一郎・大島清両教授の批判に関連して——……                   | 3    |
| 永原 慶二 日本における封建制形成の歴史的<br>前提……                              | 4    |
| 吉野 悟 古代ローマ法における握取行為の構造(1)——古代ローマ法における支配・責任・債務の展開 第3部の1——…… | 4    |

### 研究ノート

|                                                  |   |
|--------------------------------------------------|---|
| 江守 五夫 年齢階梯制度下における婚姻と親族組織の形態に関するH・クノーの学説について(2)…… | 1 |
| 奥平 康弘 非米活動委員会をめぐる若干の点描……                         | 3 |
| 調査報告                                             |   |
| 渡辺 洋三 下関における漁業労働関係の実態……                          | 2 |
| 紹 介                                              |   |
| 加藤 俊彦 銀行史紹介……                                    | 4 |
| 資 料                                              |   |
| 嘉治 真三 社会調査に於ける質問書とインタ                            |   |

|          |   |
|----------|---|
| ービュー計画…… | 1 |
|----------|---|

### 書 評

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 秋田 成就 イギリス労働組合の実態研究に関する二著について…… | 2 |
| 本橋 渥 許濞新著『広義政治経済学 第3巻』……        | 2 |

## 第7巻

|              |                    |                |
|--------------|--------------------|----------------|
| 1号 1956.2.10 | 2・3・4合併号 1956.3.10 | <山之内一郎教授還暦記念号> |
| 5号 1956.5.10 | 6号                 | 1956.8.10      |

### 論 説

|                                                                       |       |
|-----------------------------------------------------------------------|-------|
| 鈴木 圭介 アメリカ農業における資本主義発達の諸指標——農業における資本主義発達の若干の問題について 第2部——……            | 1     |
| 吉野 悟 古代ローマ法における握取行為(Mancipium)の構造(2)——古代ローマ法における支配・責任・債務の展開 第3部の2——…… | 1     |
| 宇高 基輔 東欧諸国における土地改革と農業の再編成——人民民主主義経済研究序説——……                           | 2・3・4 |
| 高橋 勇治 中華人民共和国憲法について……                                                 | 2・3・4 |
| 宇野 弘蔵 市場価値論について……                                                     | 5     |
| 李 在茂 朝鮮における「土地調査事業」の実体……                                              | 5     |
| 小山 博也 明治前期における地租軽減論の展開——自由党をめぐる——……                                   | 6     |
| 吉岡 昭彦 17世紀イギリスの「耕作地主」について——ロバート・ローダーの農業経営とその歴史的地位——……                 | 6     |

### 回顧と展望

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 山之内一郎 日本におけるソヴェト法研究—— |       |
| 福島 正夫 山之内一郎教授に聞く——……  | 2・3・4 |
| 稲子 恒夫                 |       |
| 藤田 勇                  |       |

### 資 料

|                                             |   |
|---------------------------------------------|---|
| 内藤 則邦 炭鉱労働組合の組合財政——日本炭鉱労働組合支部組合財政実態調査より——…… | 5 |
| 占領軍の労働政策に関する一資料……                           | 6 |

### 書 評

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 暉峻 衆三 栗原百寿著「農業問題入門」……  | 1     |
| 安良城盛昭 永原慶二著「日本封建社会論」…… | 6     |
| 山之内一郎教授著作目録・年譜……       | 2・3・4 |

## 第8巻

1号 1956.11.15 2号 1957.1.21

3・4合併号 1957. 2.28 5・6合併号 1957.3.28

### 論 説

外尾 健一 フランス初期労働協約法理の形成  
過程(1)(2)(3)…………… 1, 2, 3・4

江守 五夫 本邦の<一時的訪婚>慣行の発生  
に関する社会構造論的考察(序説)  
(本論その1)…………… 2, 5・6

藤田 勇 全人民的所有の運動形態としての  
計画契約の法的構造(1)…………… 3・4

大島 太郎 日本地方行財政の形成と構造(1)  
——原型創出過程の考察——…………… 5・6

### 調 査

氏原正治郎 都市における貧困層の分布と形成  
江口 英一 に関する一資料(1)…………… 1

### 資 料

大内 力 農地改革における農地買収価格に  
ついて…………… 2

### 海外学界事情

嘉治 真三 アメリカの大学と学者の生活(対  
磯田 進 談)…………… 3・4

戸原 四郎 マルクス遺稿とアムステルダム社  
会史国際研究所…………… 5・6

## 第9巻

1号 1957. 6.25 2号 1957.8.30

3号 1957.11.15 4・5合併号 1958.2.20

6号 1958. 3.20 <宇野弘蔵教授還暦記念号>

### 論 説

古島 和雄 中国の土地改革と富農問題…………… 1

藤田 勇 全人民的所有の運動形態としての  
計画契約の法的構造(2)——第2部  
の1——…………… 1

守田 志郎 明治期における地方銀行の展開と  
地主及び商業資本——新潟県第四  
国立銀行を中心に——…………… 2

大島 太郎 日本地方行財政の形成と構造(2)  
——原型創出過程の考察——…………… 2

渡辺 洋三 入会権の実態と性格(1)(2)——  
国有林法制的展開と国有地入会権  
の解体——…………… 3, 6

大石慎三郎 封建的土地所有解体に関する研究  
ノート…………… 3

大内 力 市場価値法則と差額地代…………… 4・5

加藤 俊彦 日本勸業銀行の研究——日清戦後  
乃至日露戦後を中心にして——…………… 4・5

林 茂 立憲改進黨員の地方分布  
附 立憲改進黨員名簿…………… 4・5

李 在茂 いわゆる「日韓併合」=「強占」  
前における日本帝国主義による朝  
鮮植民地化の基礎的諸指標…………… 6

### 回 顧

語り手 宇野弘蔵 経済学四十年(座談会)…………… 4・5

聞き手

林 茂, 大内 力, 加藤俊彦,  
石田 雄, 遠藤湘吉, 渡辺洋三

### 調 査

渡辺 洋三 入会山に関する一資料——長野県  
湖南村調査報告——…………… 2

### 紹 介

小山 博也 『ドイツ諸政党の社会学』…………… 3

### 資 料

ハイマン・カブリン編 幸徳秋水の一米人アナキストへの  
書簡集…………… 1

津谷 彰一 経済動向と企業経営——朝鮮動乱  
以降の企業成績分析を中心として  
——…………… 4・5  
3・15事件(1928年)当時押収  
された日本共産党関係資料…………… 6

### 海外学界事情

鵜飼 信成 アメリカ法学界展望…………… 6

宇野弘蔵教授著作目録・年譜…………… 4・5

## 第10巻

1号 1958. 8.25 2・3合併号 1958.11.10

4号 1958.12.10 5号 1959. 3.16

6号 1959. 3.24

### 論 説

戸原 四郎 ドイツ金融資本成立過程の研究(1)  
(2)——ルール地方の重工業と銀行  
との関係——…………… 1, 2・3

田中 英夫 公益事業の料金の統制の内容と  
Due Process Clause…………… 1

潮見 俊隆 国有林の法律問題——その1  
共用林野制度——…………… 2・3

石田 雄 農業協同組合の組織論的考察——  
わが国圧力団体の特質究明のため  
に——…………… 4

|           |                                                                                                                                                       |      |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 長坂 聰      | 創業利得の一考察……………                                                                                                                                         | 4    |
| 遠藤 湘吉     | 株式会社の機能について——長坂<br>聰氏の所論にふれて……………                                                                                                                     | 5    |
| 奥平 康弘     | アメリカにおける映画検閲制(1)(2)<br>——現代における表現の自由の一<br>考察——……………                                                                                                   | 5, 6 |
| 氏原正治郎     | 本工・臨時工・社外工……………                                                                                                                                       | 6    |
| 研究ノート     |                                                                                                                                                       |      |
| 遅塚 忠躬     | アンシャン・レジームに於ける大<br>借地農の成立とその基本性格……………                                                                                                                 | 6    |
| 調 査       |                                                                                                                                                       |      |
| 藤田 若雄     | 賃金協定に関する覚書……………                                                                                                                                       | 1    |
| 津田 真澄     | 炭鉱における坑外労働と労働組合<br>の職場組織……………                                                                                                                         | 6    |
| 資 料       |                                                                                                                                                       |      |
| 安良城盛昭     | 明治22年「田畑自作地実際収穫<br>及該耕作ニ対スル実費明細調」に<br>ついて……………                                                                                                        | 2・3  |
| 関谷 嵐子     | イギリスの労働組合における「遍<br>歴制度」の紹介——E. J. Hobs-<br>bawm, The Tramping Artisan<br>(Econ. Hist. Review, 2nd<br>Series, Vol. III. No. 3. 1951)<br>の所論を中心として…………… | 5    |
| 海外学界事情・動向 |                                                                                                                                                       |      |
| 有泉 亨      | いぎりす人の法生活……………                                                                                                                                        | 2・3  |
| 高橋幸八郎     | 14・5世紀における「経済的衰<br>退」論に関する最近の動向とその<br>批判……………                                                                                                         | 4    |

# 第11巻

|                    |              |    |             |
|--------------------|--------------|----|-------------|
| 1号                 | 1959. 8. 15  | 2号 | 1959. 9. 15 |
| 3号                 | 1959. 12. 25 | 4号 | 1960. 2. 17 |
| 5・6合併号 1960. 3. 26 |              |    |             |

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 論 説   |                                          |
| 望月礼二郎 | 膳本保有権の近代化(1)(2)——イギ<br>リス土地所有法近代化の一断面——… |
| 佐藤 進  | 革命と反革命の過程におけるプロ<br>イセンの所得税立法……………        |
| 遠藤 湘吉 | タバコ専売法の制定と補償問題……………                      |
| 鵜飼 信成 | 基本的人権と公共の福祉……………                         |
| 大内 力  | アメリカの土地所有……………                           |
| 高柳 信一 | 行政上の立入検査と捜索令状——<br>フランク事件判決によせて……………     |
| 遠藤 輝明 | フランスにおける産業革命の展開                          |

|            |                                                                     |
|------------|---------------------------------------------------------------------|
| 松沢 弘陽      | 天皇制体制における労働運動リー<br>ダーシップの諸類型(1)……………                                |
| 渡辺 洋三      | 明治期の借地制度……………                                                       |
| 津田 秀夫      | 安政段階の種物及び油に関する<br>「国詔」について……………                                     |
| 研究ノート      |                                                                     |
| 利谷 信義      | 家団論に関する覚書——成立の契<br>機と性格——……………                                      |
| 調 査        |                                                                     |
| 氏原正治郎・江口英一 | 都市における貧困層の分                                                         |
| 高梨 昌・関谷耕一  | 布と形成に関する一資料(2)…                                                     |
| 小林 謙一      | 北洋漁業の雇用構造——おもにサ<br>ケ・マス独航船について……………                                 |
| 資 料        |                                                                     |
| 小林 謙一      | インド農業問題の諸相——1958<br>年10月インド共産党全国協議会の<br>決議……………                     |
| 書 評        |                                                                     |
| 戸塚 秀夫      | 大河内一男<br>氏原正治郎編「労働組合の構造と<br>藤田 若雄<br>機能」——労働組合研究の最近の<br>動向……………     |
| 研究動向       |                                                                     |
| 水本 浩       | わが国におけるイギリス土地所有<br>法研究の進展……………                                      |
| 海外学界事情     |                                                                     |
| 大内 力       | モリス「1873年より85年にいた<br>る明治期日本における小農民問題」<br>——アメリカの日本経済史研究の<br>一端…………… |

# 第12巻

|    |             |    |              |
|----|-------------|----|--------------|
| 1号 | 1960. 9. 12 | 2号 | 1960. 11. 21 |
| 3号 | 1961. 1. 20 | 4号 | 1961. 2. 28  |
| 5号 | 1961. 3. 15 | 6号 | 1961. 3. 25  |

|       |                                            |
|-------|--------------------------------------------|
| 論 説   |                                            |
| 有泉 亨  | 行政解釈と判決と立法——トラッ<br>ク法における現物給与をめぐる<br>…………… |
| 石田 雄  | 組織の生成から消滅まで……………                           |
| 渡辺 洋三 | 近代的土地所有権の法的構造……………                         |
| 石崎 昭彦 | アメリカ金融資本成立過程の研究<br>(1)(2)——鉄鋼業の構造変化を中心     |

|       |                                                  |      |
|-------|--------------------------------------------------|------|
|       | にして——                                            | 2, 4 |
| 渡辺 昭  | 商品の「価値の実体」論と商品の「価値形態」論(1)(2)——労働価値説の歴史におけるマルクス—— | 2, 4 |
| 高橋 勇治 | 中華民国憲法の欺満性について                                   | 3    |
| 高柳 信一 | 日本における法の支配                                       | 3    |
| 藤田 若雄 | 戦後労働運動史の理論仮説                                     | 5    |
| 藤田 勇  | 初期ソビエトにおけるマルクス主義法理論の展開(1)——その一側面——               | 5    |
| 浅井 敦  | 社会主義的憲法原理としての民主集中制(1)                            | 6    |
| 古島 和雄 | 中国の農業協同化と人民公社——人民公社の基礎構造解明のための覚書として——            | 6    |
| 研究ノート |                                                  |      |
| 神野璋一郎 | カナダにおける独占                                        | 1    |
| 稲本洋之助 | ナポレオン民法典(1804年)における家族法——その近代法としての論理的可能性について——    | 2    |
| 資料    |                                                  |      |
| 浅井 敦  | 法の本質と社会主義的適法性                                    | 3    |
| 大内 力  | 農地改革のさいの農地買収対価の増額請求事件の判決について                     | 6    |
| 資料紹介  |                                                  |      |
| 石川 浩  | 戦後東独人民革命と国家装置の問題                                 | 5    |
| 研究覚書  |                                                  |      |
| 加藤 俊彦 | 三井銀行と池田成彬                                        | 4    |
| 調査    |                                                  |      |
| 石田 雄  | 鹿児島県農村調査覚書(1)——地域                                |      |
| 井出 嘉憲 | 社会における政治と行政——                                    | 5    |
| 安良城盛昭 | 鹿児島県農村調査覚書(2)——薩摩藩大隅国始良郡蒲生郷の農民と郷士——              | 6    |

#### 第13巻

|    |            |        |            |
|----|------------|--------|------------|
| 1号 | 1961.10.31 | 2・3合併号 | 1961.12.12 |
| 4号 | 1962. 2.12 | 5号     | 1962. 3. 5 |
| 6号 | 1962. 3.23 |        |            |

#### 論 説

|       |                                                    |        |
|-------|----------------------------------------------------|--------|
| 関谷 嵐子 | イギリス労働組合の共済手当制度(1)(2)——主として19世紀末におけるその機能と問題点について—— | 1, 2・3 |
| 浅井 敦  | 社会主義的憲法原理としての民主                                    |        |

|       |                                         |        |
|-------|-----------------------------------------|--------|
|       | 集中制(2)                                  | 1      |
| 利谷 信義 | 「家」制度の構造と機能(1)(2)——「家」をめぐる財産関係の考察——     | 2・3, 4 |
| 林 茂   | 壬午政変と自由党系新聞雑誌の論調(1)                     | 4      |
| 渡辺 洋三 | 農地相続について(1)(2)                          | 5, 6   |
| 藤田 勇  | 初期ソビエトにおけるマルクス主義法理論の展開(2)——その一側面——      | 5      |
| 高橋 誠  | 日本所得税制の史的構造                             | 6      |
| 調査    |                                         |        |
| 磯田 進  | 鹿児島県農村調査覚書(3)——旧郷士制村落の社会構造(上)——         | 2・3    |
| 潮見 俊隆 | 鹿児島県農村調査覚書(4)土族共有社——旧郷士制村落の一側面——        | 5      |
| 千葉 正士 | 鹿児島県農村調査覚書(5)地域組織                       | 6      |
| 暉峻 衆三 | 鹿児島県農村調査覚書(6)土地利用の変遷・地主小作関係・改革後の農業経済の動向 | 6      |

#### 調査報告

|            |                        |   |
|------------|------------------------|---|
| 氏原正治郎・山崎 清 | 江口英一・日雇労働者の賃金と最低生活費(1) | 4 |
|------------|------------------------|---|

#### 資料紹介

|       |                       |   |
|-------|-----------------------|---|
| 遅塚 忠躬 | フランスに於ける土地制度史関係史料について | 1 |
|-------|-----------------------|---|

#### 紹 介

|       |                                                                                          |   |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 竹内 重年 | 『ボン基本法のイデオロギー的内容』Helmut Rumpf: "Der ideologische Gehalt des Bonner Grundgesetzes", 1958. | 6 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|---|

#### 第14巻

|        |            |    |            |
|--------|------------|----|------------|
| 1号     | 1962.10.15 | 2号 | 1962.10.31 |
| 3・4合併号 | 1962.12.14 | 5号 | 1963. 2.18 |
| 6号     | 1963. 3.23 |    |            |

#### 論 説

|       |                                   |        |
|-------|-----------------------------------|--------|
| 戸原 四郎 | ドイツ産業資本の特質(上)——19世紀の南ドイツ綿工業について—— | 1      |
| 李 在茂  | 李朝末期における農民の社会的存在形態                | 1      |
| 林 健久  | 明治前期の租税構造(1)(2)                   | 2, 3・4 |
| 小池 和男 | 産業別賃金交渉の構造(1)(2)——鉄鋼産業における実証的研究—— | 2, 3・4 |

|        |                                                       |     |
|--------|-------------------------------------------------------|-----|
| 小林 三衛  | 私有林野の形成……………                                          | 5   |
| 木田 純一  | ソヴェト刑法と刑罰の本質……………                                     | 5   |
| 針生 誠吉  | 中華人民共和国国家論の諸問題<br>——人民公社の政社会——と国家死<br>滅論……………         | 6   |
| 高梨 昌   | 現代日本の中小企業問題——中小<br>企業論の反省……………                        | 6   |
| 調 査    |                                                       |     |
| 望月礼二郎  | 鹿児島県農村調査覚書(7)——山林<br>所有の諸形態……………                      | 2   |
| 調査報告   |                                                       |     |
| 氏原正治郎  | 神奈川県における新規学卒者労働                                       |     |
| 中西 洋   | 市場の変貌……………                                            | 3・4 |
| 伊藤 三次  | 京葉工業地帯調査中間報告(1)新規<br>学卒者の就業問題——変貌過程に<br>ある千葉県の実態…………… | 6   |
| 氏原正治郎  | 江口英一・日雇労働者の賃金と<br>山崎 清 最低生活費(2)……………                  | 6   |
| 資料紹介   |                                                       |     |
| 遅塚 忠躬  | フランス土地制度史関係史料補遺……………                                  | 1   |
| 佐藤 良雄  | 藤井対武田事件——大正4年連合<br>部判決直後における「婚約」保護<br>の一事例……………       | 5   |
| 書 評    |                                                       |     |
| 宇野 博二  | 石崎昭彦『アメリカ金融資本の成<br>立』……………                            | 5   |
| 海外学界事情 |                                                       |     |
| 石田 雄   | 西欧・アジア・日本——海外研究<br>断想……………                            | 6   |

## 第15巻

|        |                                                 |        |             |
|--------|-------------------------------------------------|--------|-------------|
| 1号     | 1963. 8. 20                                     | 2号     | 1963. 9. 14 |
| 3・4合併号 | 1963. 11. 29                                    | 5号     | 1964. 2. 5  |
| 6号     | 1964. 2. 29                                     |        |             |
| 論 説    |                                                 |        |             |
| 三輪 昌男  | 戦後農業金融制度の構造……………                                | 1      |             |
| 戸原 四郎  | ドイツ産業資本の特質(下)——<br>19世紀の南ドイツ綿工業につい<br>て……………    | 1      |             |
| 柴垣 和夫  | 日本金融資本研究序説(1)(2)——財<br>閥型金融資本の構造分析……………         | 2, 3・4 |             |
| 志村 嘉一  | 国家独占資本主義の方法論的な試<br>論——両世界大戦・世界恐慌と管<br>理通貨制…………… | 2      |             |
| 遅塚 忠躬  | 17・8世紀ルアン大司教領の経                                 |        |             |

|                                                       |                                                                    |        |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------|
|                                                       | 済構造(1)(2)——領主経済の構造と<br>変動——……………                                   | 3・4, 5 |
| 田口 陽一                                                 | 後進国援助の現状——主として対<br>外債務償還負担累増側面からの接<br>近——……………                     | 5      |
| 藤瀬 浩司                                                 | プロシヤ農民解放と農業進化の構<br>造(1)……………                                       | 6      |
| 潮見 俊隆                                                 | 基地訴訟の現状と基地闘争の諸形<br>態(1)——続・日本のなかの外国——…………                          | 6      |
| 研究ノート                                                 |                                                                    |        |
| 加藤 俊彦                                                 | 第一銀行と佐々木勇之助……………                                                   | 3・4    |
| 研究覚書                                                  |                                                                    |        |
| 堀部 政男                                                 | イギリスにおけるヘイピアス・コ<br>ーバスの歴史的展開——その身柄<br>提出令状的な機能の時期を中心と<br>して——…………… | 6      |
| 書 評                                                   |                                                                    |        |
| 隅谷三喜男                                                 | 藤田若雄・船橋尚道編『石炭鉱業<br>合理化の実態』……………                                    | 2      |
| 山口 和雄                                                 | 加藤俊彦・大内力編著『国立銀行<br>の研究』……………                                       | 5      |
| 回 顧                                                   |                                                                    |        |
| 南原 繁・大内 兵衛<br>我妻 栄・宇野 弘蔵<br>鶴飼 信成・有泉 亨<br>内田 力蔵・高橋幸八郎 | 社会科学研究所の<br>15年……………                                               | 1      |
| 記 事                                                   |                                                                    |        |
| 東京大学社会科学研究所創立15周年記念式典記事…                              |                                                                    |        |

## 第16巻

|               |                                                                       |        |              |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------|--------|--------------|
| 1号            | 1964. 10. 22                                                          | 2号     | 1964. 11. 25 |
| 3号            | 1965. 1. 25                                                           | 4・5合併号 | 1965. 3. 12  |
| 6号            | 1965. 3. 24                                                           |        |              |
| 〈嘉治真三教授還暦記念号〉 |                                                                       |        |              |
| 論 説           |                                                                       |        |              |
| 安良城盛昭         | 第一議会における地主議員の動向……………                                                  | 1      |              |
| 藤瀬 浩司         | プロシヤ農民解放と農業進化の構<br>造(2)……………                                          | 1      |              |
| 内田 力蔵         | サー・ヘンリー・メーンとイギリ<br>ス法の「法典化」(1)——19世紀<br>インドにおける立法にたいするメ<br>ーンの貢献…………… | 2      |              |
| 伊藤 喜雄         | 農地改革後における農家の階層変<br>動(1)(2)……………                                       | 2, 3   |              |
| 加藤 栄一         | ヴァイマル期ドイツ資本主義の構<br>造と運動(1)(2)——国家独占資本主<br>義的政策体系の必然性……………             | 3, 4・5 |              |

|                                                    |                                                      |        |
|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------|--------|
| 石田 雄                                               | 日本における政治的近代化の型について……………                              | 4・5    |
| 辰巳 光世                                              | 政治的キー・シンボルと引照基準の体系(1)——憲法調査会公聴会記録の内容分析を通して——……………    | 4・5    |
| 井出 嘉憲                                              | アメリカにおける政府PRの構造と機能……………                              | 6      |
| 鈴木 圭介                                              | アメリカ農業金融の史的展開——主として南北戦争以後の抵当金融を中心として——……………          | 6      |
| 渡辺 一夫                                              | 新潟地震——その社会経済地理的諸問題——……………                            | 6      |
| 資 料                                                |                                                      |        |
| 石田雄解説<br>大森 弥沢                                     | S・N・アイゼンシュタット「近代化——成長と多様性——」……………                    | 1      |
| 宮野 啓二                                              | 南北戦争前夜におけるアメリカ工業——1860年工業センサスの統計的整理を基礎にして——……………     | 6      |
| 調査報告                                               |                                                      |        |
| 稲本洋之助                                              | 18世紀末のバリ地方における直系卑属相続人の相続分割慣行(1)(2)(1786——共和暦3年)…………… | 3, 4・5 |
| 研究ノート                                              |                                                      |        |
| 大石嘉一郎                                              | 日本における「産業資本確立期」について——最近の「通説」批判の検討——……………             | 4・5    |
| 大内 力                                               | 段階説と類型論にかんする覚書——ロストウとガーシェンクロン——……………                 | 6      |
| 学界事情                                               |                                                      |        |
| 高橋幸八郎・毛利 健三<br>遅塚 忠躬・石坂 昭雄<br>石田 雄・和田 春樹           | 歴史学国際会議について……………                                     | 2      |
| 回 顧                                                |                                                      |        |
| 嘉治真三(語りて) 嘉治教授還暦記念座談会<br>鵜飼信成(聞きて) 『アメリカ研究と私』…………… |                                                      | 6      |
| 鈴木圭介<br>渡辺一夫<br>加藤俊彦(司 会)                          |                                                      |        |

## 第17巻

|               |               |
|---------------|---------------|
| 1号 1965.10.18 | 2号 1965.11.16 |
| 3号 1965.12.18 | 4号 1966.2.7   |
| 5号 1966.2.28  | 6号 1966.3.17  |

## 論 説

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 加藤 俊彦 | 戦時経済下の銀行資本(1)(2)——六 |
|-------|---------------------|

|               |                                                           |      |
|---------------|-----------------------------------------------------------|------|
| 山本 潔          | 大銀行を中心として——……………                                          | 1, 2 |
|               | 技術革新と労働市場構造の変貌——機械工業および装置工業における実証的研究——……………               | 1    |
| 渡辺 洋三         | 戦後の地方行政と公有地入会……………                                        | 2    |
| 藤田 若雄         | 戦後日本労働争議論……………                                            | 2    |
| 和田 春樹         | 近代ロシア社会の発展構造(1)(2)——1890年代のロシア——……………                     | 2, 3 |
| 稲本洋之助         | フランス革命期における相続法改革について(1)(2)……………                           | 3, 5 |
| 伊藤 隆          | ロンドン海軍軍縮問題をめぐる諸政治集団の対抗と提携〔第1部〕……………                       | 4    |
| 佐藤 良雄         | 判例における婚姻予約の研究……………                                        | 5    |
| 藤田 勇          | 30年代前半のソビエト法論について……………                                    | 6    |
| 毛利 健三         | 1825年恐慌とイギリス綿工業——イギリス産業資本確立過程の構造分析序論——……………               | 6    |
| 研究ノート         |                                                           |      |
| 坂野 潤治<br>伊藤 隆 | 杉田定一・坪田仁兵衛関係文書にみる明治20年代の選挙と地方政治……………                      | 1    |
| 文献紹介          |                                                           |      |
| 中 嶋 太一        | ソヴェトに於ける中国ブルジョア革命運動史の研究——エス・エリ・チフビンスキー著「孫逸仙」を中心として——…………… | 2    |
| 調査報告          |                                                           |      |
| 渡辺 洋三<br>森 実  | 入会権の実態——岐阜県吉城郡小鷹利地区の一事例——……………                            | 3    |
| 小泉 明<br>鈴木 継美 | 神奈川県における高齢者の健康状態について……………                                 | 4    |
| 資 料           |                                                           |      |
| 高柳 信一         | 京葉地帯における企業誘致土地造成事業関係資料(1)(2)……………                         | 5, 6 |
| 書 評           |                                                           |      |
| 栗田 健          | 大河内一男編『産業別賃金決定の機構』……………                                   | 1    |
| 御園生 等         | 柴垣和夫著『日本金融資本分析』——「財閥」の成立とその構造——……………                      | 4    |

## 第18巻

|              |               |
|--------------|---------------|
| 1号 1966.6.10 | 2号 1966.10.25 |
| <有泉亨教授還暦記念号> |               |
| 3号 1966.11.2 | 4号 1967.2.10  |
| 5号 1967.3.2  | 6号 1967.3.18  |

|             |                                                                                   |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 論 説         |                                                                                   |
| 渡辺 洋三       | 労働法の基本問題…………… 1                                                                   |
| 藤田 若雄       | 就業規則に関する判例研究…………… 1                                                               |
| 山口浩一郎       | 試用労働契約の法的構成について…………… 1                                                            |
| 佐藤 良雄       | 西ドイツにおける第二次大戦後の<br>内縁問題…………… 1                                                    |
| 潮見 俊隆       | 検察官論断章——岐路にたつ検察<br>——…………… 1                                                      |
| 唄 孝一        | 輸血過誤の研究序論(1)(2)——不適<br>合輸血を中心として——…………… 2, 5                                      |
| 石坂 昭雄       | オランダにおける近代財政の成立<br>(1)(2)——オランダ型貿易国家の市<br>民革命と財政制度の変革(1975<br>— 1830)——…………… 2, 3 |
| 山田 卓生       | 借地法の生成と展開(1)(2)——宅地<br>利用権の譲渡転貸を中心にして——… 2, 4                                     |
| 稲本洋之助       | 相続法における立憲君主制的契機<br>—— 19世紀前半のフランスをみ<br>て——…………… 3                                 |
| 中嶋 太一       | 中国官僚資本主義の形成(1)(2)——<br>30年代に於ける国民党の経済政<br>策を中心として——…………… 3, 4                     |
| 内田 力蔵       | イギリスにおける裁判官の身分保<br>障について…………… 5                                                   |
| 佐々木隆雄       | 南北戦争以後のアメリカ鉄道建設<br>とその経済的意義 1860—90年<br>(1)(2)…………… 5, 6                          |
| 研究ノート       |                                                                                   |
| 氏原正治郎       | 「社会政策なき社会政策論」——<br>岸本助教授の大河内教授批判——…………… 1                                         |
| 史料紹介        |                                                                                   |
| 渡辺国武関係文書研究会 | 渡辺国武関係文書(1)(2)… 4, 5                                                              |
| 書 評         |                                                                                   |
| 柴垣 和夫       | 渡辺洋三編『現代法と経済』——<br>岩波講座 現代法 7 ——…………… 2                                           |
| 高橋幸八郎       | ユベール・ブロシェ『日本経済の<br>奇蹟』(パリ 1965年)…………… 3                                           |
| 研究資料        |                                                                                   |
| 基本的人権研究会    | 「基本的人権研究会」研究<br>報告集                                                               |
| 渡辺 洋三       | 現代国家における基本的人権…………… 6                                                              |
| 石田 雄        | 日本における法的思考の発展と基<br>本的人権…………… 6                                                    |
| 針生 誠吉       | 人権保障における近代立憲主義型                                                                   |

|            |                                |
|------------|--------------------------------|
|            | と社会主義型——その原理的試論——… 6           |
| 藤田 勇       | 社会主義社会と基本的人権…………… 6            |
| 奥平 康弘      | 戦前日本憲法学における「基本権」<br>の観念…………… 6 |
| 回 顧        |                                |
| 有泉 亨(語りて)  | 有泉教授還暦記念座談会                    |
| 加藤 一郎(聞きて) | 『有泉先生の学問をめぐ<br>つて』…………… 1      |
| 藤田 若雄      |                                |
| 渡辺 洋三      |                                |
| 氏原正治郎(司 会) |                                |

## 第19巻

|    |            |    |            |
|----|------------|----|------------|
| 1号 | 1967.10.12 | 2号 | 1967.12.28 |
| 3号 | 1968. 1.16 | 4号 | 1968. 3.15 |
| 5号 | 1968. 3.21 | 6号 | 1968. 3.27 |

## 論 説

|       |                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------|
| 堀部 政男 | イギリス近代法の形成(1)(2)——18<br>世紀後半における司法的立法研究<br>序説——…………… 1, 2 |
| 山口浩一郎 | 試用労働契約の研究…………… 1                                          |
| 伊藤 隆  | ロンドン海軍軍縮問題をめぐる諸<br>政治集団の対抗と提携(2)…………… 2                   |
| 松沢 哲成 | 「昭和維新」の思想と行動——橘<br>孝三郎の場合——…………… 3                        |
| 高村 直助 | 日本紡績業の確立と構造(1)(2)<br>—— 1890～1900年 ——…………… 4, 5           |
| 三輪 昌男 | 協同組合理論の若干の検討(1)(2)<br>——近藤理論系譜の諸研究につい<br>て——…………… 4, 5    |
| 保木本一郎 | ドイツにおける営業警察の展開(1)(2)… 5, 6                                |
| 高村 直助 | 日本紡績業の展開—— 1900～<br>1914年 ——…………… 6                       |

## 翻 訳

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 渡辺 章  | 分析的・比較的文脈における「ブ       |
| 手塚 和彰 | ロテスタンティズムの倫理」説…………… 1 |
| 岡 利郎  |                       |

## 座談会

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 磯田 進・稲本洋之助  | フランスの労働事情              |
| 藤田 若雄・保原喜志夫 | (1)(2)(3)…………… 2, 3, 4 |
| 山口浩一郎・渡辺 達郎 |                        |
| 渡辺 洋三       |                        |
| 磯田 進(編集者)   |                        |

## 書 評

|      |                                                            |
|------|------------------------------------------------------------|
| 佐藤 正 | 東京大学社会科学研究所編『沿岸<br>漁業と漁村社会の研究』——長崎・<br>茨城・千葉の実態調査——…………… 3 |
|------|------------------------------------------------------------|

## 研究ノート

|      |                 |
|------|-----------------|
| 柳沢 治 | 三月革命期における手工業者運動 |
|------|-----------------|



|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 資料分析  | とその社会的経済的諸問題…………… 5                 |
| 安良城盛昭 | 初期帝国議会下の地租軽減・地価<br>修正運動とその基盤…………… 6 |

## 第20巻

|                             |            |        |            |
|-----------------------------|------------|--------|------------|
| 1号                          | 1968. 9.10 | 2号     | 1968.10.25 |
| 3・4合併号                      | 1969. 3.26 | 5・6合併号 | 1969. 3.31 |
| <内田力蔵教授還暦記念号> <高橋勇治教授還暦記念号> |            |        |            |

### 論 説

|       |                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 馬場 宏二 | アメリカ貿易 1919～1939年…………… 1                                 |
| 山之内 靖 | マルクス・エンゲルスのドイツ資本主義論——三月革命時代を中心にして…………… 1                 |
| 内田 力蔵 | 19世紀後半のインドの統治と法とメーン——サー・ヘンリー・メーンとイギリス法の「法典化」——(2)…………… 2 |
| 保本木一郎 | ドイツにおける営業警察の展開(3・完)…………… 2                               |
| 内田 力蔵 | インドにおけるイギリス法導入とメーン…………… 3・4                              |
| 望月礼二郎 | イギリス法における「基本的違反の法理」について…………… 3・4                         |
| 堀部 政男 | イギリスにおける先例拘束性法理の確立期論——マンスフィールド裁判所の先例理論を中心にして…………… 3・4    |
| 戒能 通厚 | 近代イギリスにおける土地所有と相続(1)——イギリス所有権法の考察…………… 3・4               |
| 稲本洋之助 | フランス革命初期の民事陪審論…………… 3・4                                  |
| 西川 純子 | 持株会社についての一考察——TNEC報告第29巻を中心に…………… 3・4                    |
| 古島 和雄 | 国民経済復興期における統制政策とその性格…………… 5・6                            |
| 針生 誠吉 | 中国における過渡期階級闘争と犯罪闘争の理論と実態…………… 5・6                        |
| 菅沼 正久 | 中国の文化大革命の政治過程…………… 5・6                                   |
| 中嶋 太一 | 転形期における「中国銀行」の綿業投資の構造…………… 5・6                           |
| 藤田 勇  | 十月革命における人民裁判所の形成過程——裁判所にかんする布告第1号の成立をめぐる…………… 5・6        |

### 研究ノート

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 神林 章夫 | 明治前期・町村財政の形成と教育費徴集…………… 1 |
|-------|---------------------------|

### 書 評

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 福島正夫 | 藤田勇著『ソビエト法理論史研究』1917～1738年…………… 2 |
|------|-----------------------------------|

### 回 顧

|                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 高橋勇治(語り手)                | 『高橋先生と中国研究』…………… 5・6 |
| 古島和雄(聞き手)                |                      |
| 本橋 渥                     |                      |
| 針生誠吉                     |                      |
| 藤井昇三                     |                      |
| 内田力蔵教授略歴・著作目録一覧…………… 3・4 |                      |
| 高橋勇治教授略歴・著作目録…………… 5・6   |                      |

## 第21巻

|    |            |        |           |
|----|------------|--------|-----------|
| 1号 | 1969.12.17 | 2・3合併号 | 1970.3.18 |
| 4号 | 1970. 3.25 | 5・6合併号 | 1970.3.31 |

### 論 説

|       |                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------|
| 戸塚 秀夫 | 戦時社会政策論の一回顧…………… 1                                                |
| 内田 力蔵 | インドにおけるイギリス法導入とメーン(2)…………… 1                                      |
| 西川 純子 | 1920年代アメリカの企業金融分析——金融資本展開過程の一側面…………… 2・3                          |
| 柳沢 治  | ドイツ三月革命の農業・土地問題——「農民革命」の分析を中心に…………… 2・3                           |
| 渡辺 洋三 | 損失補償の実態と理論…………… 4                                                 |
| 野島 信正 |                                                                   |
| 大屋 和恵 |                                                                   |
| 戒能 通厚 | 近代イギリスにおける土地所有と相続(2)——イギリス所有権法の考察…………… 4                          |
| 早川征一郎 | 戦後国鉄賃金決定機構の考察——昭和24～32年を中心として…………… 5・6                            |
| 馬場 宏二 | 『帝国主義論』プラン…………… 5・6                                               |
| 資 料   |                                                                   |
| 伊藤 隆  | 岡田良平関係文書…………… 5・6                                                 |
| 坂野 潤治 |                                                                   |
| 竹山 護夫 |                                                                   |
| 研究ノート |                                                                   |
| 奥平 康弘 | 明治20年新聞紙条例・出版条例についての若干の考察(1)(2)——明治憲法における表現の自由の考察の前提として…………… 1, 4 |

### 書 評

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 岡田 与好 | 小山貞夫著『中世イギリスの地方 |
|-------|-----------------|

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 行政』                     | 2・3 |
| 戦後改革研究会報告               |     |
| 戦後改革研究会 戦後改革研究の課題と視角    | 5・6 |
| 柴垣 和夫 1.日本経済の側面から       | 5・6 |
| 戸原 四郎 2.外国経済の事例から       | 5・6 |
| 石田 雄 3.政治学の観点から         | 5・6 |
| 藤田 勇 4.社会主義諸国のばあい       | 5・6 |
| 大内 力 5.「戦後改革」への二つのアプローチ | 5・6 |

## 第22巻

|                                             |            |    |            |
|---------------------------------------------|------------|----|------------|
| 1号                                          | 1970.10.20 | 2号 | 1970.12.17 |
| 3号                                          | 1971. 1.22 | 4号 | 1971. 3. 9 |
| 5・6合併号                                      | 1971. 3.29 |    |            |
| 論 説                                         |            |    |            |
| 小湊 繁 相対的安定期におけるドイツの大銀行と産業の資本蓄積(1)           | 1          |    |            |
| 石田 雄 内容分析による田中耕太郎最高裁長官の観念構造の究明              | 1          |    |            |
| 加藤 俊彦 戦後インフレーションと銀行                         | 2          |    |            |
| 小湊 繁 相対的安定期におけるドイツの大銀行と産業の資本蓄積(2)           | 2          |    |            |
| 藤田 若雄 労働協約の研究——大正9年～昭和5年頃の労働協約——            | 3          |    |            |
| 松沢 哲成 石原莞爾と世界最終戦論(1)(2)——満州事変前後の日本ファシズム運動—— | 3,4        |    |            |
| 鈴木 圭介 アメリカ資本主義の発展と鉄道業                       |            |    |            |
| 中西 弘次 (1)——南北戦争以前の時期を中心                     | 4          |    |            |
| 戸原 四郎 1920年代を中心とするアメリカの景気変動と金融の動向           | 5・6        |    |            |
| 鈴木 圭介 アメリカ資本主義の発展と鉄道業                       |            |    |            |
| 中西 弘次 (2)——南北戦争以前の時期を中心                     | 5・6        |    |            |

## 研究ノート

|                                                              |   |
|--------------------------------------------------------------|---|
| 奥平 康弘 明治20年新聞紙条例・出版条例についての若干の考察(3)——明治憲法における表現の自由の考察の前提として—— | 2 |
| 手塚 和彰 戦前の労働組合法問題と旧労働組合法の形成と展開(1)                             | 2 |

## 書 評

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 宮川 淳 馬場宏二著『アメリカ農業問題の発生』 | 1 |
|-------------------------|---|

|                                           |     |
|-------------------------------------------|-----|
| 伊藤 喜雄 労働調査論研究会編『戦後日本の労働調査』                | 3   |
| 村上 勝彦 社会科学研究所調査報告第12集『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』 | 4   |
| 戦後改革研究会報告                                 |     |
| 戸塚 秀夫 労働改革研究への接近方法                        | 1   |
| 労働調査論研究会中間報告                              |     |
| 戸塚 秀夫 戦後初期の労働組合・争議調査                      | 4   |
| 山本 潔 京浜工業地帯調査について                         | 4   |
| 中西 洋 『労働市場の研究』について                        | 5・6 |
| 早川征一郎 日本型労働者論と郵政現業職員調査                    | 5・6 |

## 第23巻

|                                                |           |               |            |
|------------------------------------------------|-----------|---------------|------------|
| 1号                                             | 1971.9. 3 | 2号            | 1971.11. 5 |
| 3号                                             | 1972.2. 5 | 4号            | 1972. 3.25 |
| 5・6合併号                                         | 1972.3.27 | <宇高基輔教授還暦記念号> |            |
| 論 説                                            |           |               |            |
| 渡辺 洋三 戦時立法と戦後改革                                | 1         |               |            |
| 利谷 信義 明治民法における「家」と相続                           | 1         |               |            |
| 稲本洋之助 フランス革命初期の裁判官選任論                          | 2         |               |            |
| 鈴木 圭介 アメリカ資本主義の発展と鉄道業                          |           |               |            |
| 中西 弘次 (3)——南北戦争以前の時期を中心                        | 2         |               |            |
| 戒能 通厚 近代イギリス土地相続法の社会的基礎(1)(2)——イギリス所有権法の——考察—— | 3, 5・6    |               |            |
| 藤田 勇 「ソビエト社会主義法学」の展開——第一次法体系論争をめぐる——           | 4         |               |            |
| 和田 春樹 ロシア第一次革命における労働問題——コソフツォフ委員会をめぐる——        | 4         |               |            |
| 中崑 太一 戦後に於ける中国官僚資本の基本性格——1946—47年段階の工業を中心として—— | 4         |               |            |
| 神林 章夫 公共企業体の自立的基盤——「公共投資論」への一視角・日本電々公社と建設投資——  | 5・6       |               |            |
| 研究ノート                                          |           |               |            |
| 手塚 和彰 戦前の労働組合法問題と旧労働組合法の形成と展開(2)               | 2         |               |            |
| 宮崎 良夫 行政国家における営業の自由(1)(2)                      | 3, 5・6    |               |            |
| 本間 重紀 戦時経済統制法分析に関する予備作業                        | 3         |               |            |

|                            |                                             |          |                                                                   |                                |
|----------------------------|---------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 戦後改革研究会報告                  |                                             | 研究のために—— | 1                                                                 |                                |
| 馬場 宏二                      | 戦前・戦後の世界経済……………                             | 1        | 岡田 与好 現代経済史学の成立……………                                              | 2                              |
| 斉藤 孝                       | 第二次世界大戦における枢軸諸国の敗戦の態様……………                  | 1        | 稲本洋之助 フランス革命初期における検察の構造……………                                      | 2                              |
| 稲本洋之助                      | 現代法研究の方法上の諸問題……………                          | 1        | 宮野 啓二 ペンシルヴェニア保護主義の経済的基盤——19世紀前半期のアメリカ鉄工業と保護関税……………               | 3                              |
| 石田 雄                       | 戦後改革と組織構造……………                              | 1        | 田口 陽一 J・クック商会の成立とその倒産——アメリカ投資金融業の展開と金融資本形成過程への推転の側面……………          | 3                              |
| 遠藤 湘吉                      | 政府間の財政関係——地方財政調整制度を中心に……………                 | 3        | 西川 純子 1920年代アメリカにおける金融機関の集中……………                                  | 3                              |
| 柴垣 和夫                      | 財閥解体と財閥再編……………                              | 3        | 外尾 健一 アメリカのユニオン・ショップ制(1)……………                                     | 4                              |
| 林 健久                       | ドッジライン、シャープ勧告の周辺——戦後財政史口述資料による……………         | 5・6      | 秋田 成就 アメリカ労働協約における非争議条項の法的強制の問題——Boys Market Case(1970)に関連して…………… | 4                              |
| 平田 重明                      | 東欧の戦後改革とその国際関係……………                         | 5・6      | 山口浩一郎 「労働者憲章」法とその後のイタリア労使関係……………                                  | 4                              |
| 加藤 栄一                      | 国際通貨制度における戦前戦後の連続と不連続——連合国の戦後世界経済構想の側面…………… | 5・6      | 宮崎 良夫 プロイセンにおける官府裁判(Kammerjustiz)……………                            | 5・6                            |
| 書 評                        |                                             |          | 戒能 通厚 司法国家制の歴史的構造——近代イギリス統治構造分析・序……………                            | 5・6                            |
| 社会科学研究所編『基本的人権の研究』(全5巻)    |                                             |          | 研究ノート                                                             |                                |
| 長谷川正安                      | 基本的人権研究のために——『基本的人権の研究』総論の書評として……………        | 1        | 松沢 哲成 「満洲国」の形成——日中関係史の一断面……………                                    | 1                              |
| 樋口 陽一                      | 基本的人権の歴史性と法技術的構成の理解をめぐる若干の問題点……………          | 1        | 石田 雄 ラテン・アメリカにおける日本研究断想……………                                      | 1                              |
| 和田 英夫                      | 「基本的人権」のはじめての総合的研究……………                     | 1        | 加藤 俊彦 陸奥宗光と地租改正……………                                              | 2                              |
| 片岡 昇                       | 「基本的人権」と労働基本権論……………                         | 1        | 大石嘉一郎 雇用契約書の変遷からみた製糸業賃労働の形態変化……………                                | 2                              |
| 座談会                        |                                             |          | 柴垣 和夫 日本金融資本の特質——拙著への書評をめぐって……………                                 | 2                              |
| 宇高 基輔(語り手)                 | 宇高基輔教授と経済学……………                             | 4        | 平石 直昭 横井小楠研究ノート——思想形成に関する事実分析を中心に……………                            | 5・6                            |
| 藤田 勇(聞き手)                  |                                             |          | 戦後改革研究会報告                                                         |                                |
| 岡崎 栄松                      |                                             |          | 清水 睦 「憲法改正」と国会……………                                               | 5・6                            |
| 古島 和雄                      |                                             |          | 書 評                                                               |                                |
| 和田 春樹                      |                                             |          | 藤田 若雄 鼓筆雄著『マックス・ヴェバーと労働問題』を読んで……………                               | 4                              |
| 宇高基輔教授略歴・著作目録……………         |                                             |          | 座談会                                                               |                                |
| 第24巻                       |                                             |          | 高橋幸八郎(語り手)                                                        | 経済史研究とその国際交流——社会科学研究所25年間の回顧とと |
| 1号 1972. 8. 12 <林茂教授還暦記念号> | 2号 1972. 12. 27 <高橋幸八郎教授還暦記念号>              |          | 稲本洋之助(聞き手)                                                        |                                |
| 3号 1973. 3. 9 <鈴木圭教授還暦記念号> | 4号 1973. 3. 24 <藤田若雄教授還暦記念号>                |          | 潮見 俊隆                                                             |                                |
| 5・6合併号 1973. 3. 28         |                                             |          | 大石嘉一郎                                                             |                                |
| 論 説                        |                                             |          |                                                                   |                                |
| 福島 新吾                      | 警察と政治との交錯……………                              | 1        |                                                                   |                                |
| 小山 博也                      | 日本社会党設立時の地方組織——埼玉県の場合……………                  | 1        |                                                                   |                                |
| 伊藤 隆                       | 「拳国一致」内閣期の政界再編成問題——昭和13年近衛新党問題……………         |          |                                                                   |                                |

|            |            |   |
|------------|------------|---|
| 和田 春樹      | もに —……………  | 2 |
| 渡辺 洋三      |            |   |
| 岡田 与好(司 会) |            |   |
| 鈴木 圭介(語り手) | アメリカ経済史研究の |   |
| 宇治田富造(聞き手) | 回顧と展望…………… | 3 |
| 本田 創造      |            |   |
| 田口 陽一      |            |   |
| 田島 恵児      |            |   |
| 宮野 啓二(司 会) |            |   |
| 中西 弘次(報 告) |            |   |

回 想

|            |                               |   |
|------------|-------------------------------|---|
| 戸塚 秀夫(聞き手) | 藤田若雄先生に聞く<br>——その学問と信仰——…………… | 4 |
|------------|-------------------------------|---|

文献目録

|                     |                                  |   |
|---------------------|----------------------------------|---|
| 中西 弘次               | アメリカ経済史関係文献目録<br>(1945～71年)…………… | 3 |
| 林茂教授略歴・著作目録……………    |                                  | 1 |
| 高橋幸八郎教授略歴・業績目録…………… |                                  | 2 |
| 鈴木圭介教授略歴・著作目録……………  |                                  | 3 |
| 藤田若雄教授略歴・著作目録……………  |                                  | 4 |

第25巻

|    |            |    |           |
|----|------------|----|-----------|
| 1号 | 1973.10.12 | 2号 | 1974.2.9  |
| 3号 | 1974.2.13  | 4号 | 1974.2.26 |
| 5号 | 1974.3.23  | 6号 | 1974.3.29 |

論 説

|       |                                            |      |
|-------|--------------------------------------------|------|
| 加藤 俊彦 | 長期信用銀行の一考察——長期信用銀行の構想の形成過程——……………          | 1    |
| 外尾 健一 | アメリカのユニオン・ショップ制(2)……………                    | 1    |
| 稲本洋之助 | フランス革命初期における治安判事の創設(1)(2)……………             | 2, 3 |
| 宮崎 良夫 | 「法治国」の理念と現実(1)——プロイセン官僚制法治主義の特質——……………     | 2    |
| 手塚 和彰 | ドイツ団結法発展史論(上)——団結の自由放任期における労働組合と団結法——…………… | 3    |
| 和田 春樹 | 1896年ベテルブルク綿工業労働者のゼネスト……………                | 4    |
| 伊藤 隆  | 「挙国一致」内閣期の政界再編成問題(2)……………                  | 4    |
| 平石 直昭 | 主体・天理・天帝(1)(2)——横井小楠の政治思想——……………           | 5, 6 |
| 藤田 勇  | ソ連における経済改革と法(1)……………                       | 5    |
| 本間 重紀 | 戦時経済法の研究(1)——国家的独占と経済法——……………              | 6    |

研究ノート

|       |                         |   |
|-------|-------------------------|---|
| 戸塚 秀夫 | 日本における外国人労働者問題について…………… | 5 |
|-------|-------------------------|---|

資料紹介

|       |                    |   |
|-------|--------------------|---|
| 佐藤 良雄 | 判例家族法の再検討のために——    |   |
| 関 彌一郎 | 婚姻予約なし内縁(1)——…………… | 6 |

戦後改革研究会報告

|       |                      |   |
|-------|----------------------|---|
| 竹前 栄治 | アメリカの初期対日労働政策……………   | 1 |
| 小田中聡樹 | 刑事訴訟制度の改革について……………   | 1 |
| 依田 精一 | 戦後改革における新家族観の成立…………… | 2 |

書 評

|                             |                                   |   |
|-----------------------------|-----------------------------------|---|
| 高柳信一・藤田勇編『資本主義法の形成と展開』(全3巻) |                                   |   |
| 遅塚 忠躬                       | 資本主義と営業の自由(1巻)……………               | 3 |
| 片岡 昇                        | 行政・労働と営業の自由(2巻)……………              | 3 |
| 山中永之佑                       | 企業と営業の自由(3巻)……………                 | 3 |
| 川上 敏充                       |                                   |   |
| 平岡 久                        |                                   |   |
| 宇治田富造                       | 鈴木圭介編『アメリカ経済史』……………               | 4 |
| 川上 忠雄                       | 馬場宏二著『世界経済——基軸と周辺』——二つの必然性——…………… | 4 |

調査報告

|       |                                              |   |
|-------|----------------------------------------------|---|
| 戸塚 秀夫 | 日本の「新左翼」諸党派の形成と展開——その組織的系譜について<br>の概観——…………… | 1 |
|-------|----------------------------------------------|---|

座談会

|            |                 |   |
|------------|-----------------|---|
| 氏原正治郎(語り手) | 公務員制度調査会発足      |   |
| 井出 嘉憲(聞き手) | の経緯と問題点(1)…………… | 6 |
| 高柳 信一      |                 |   |
| 田端 博邦      |                 |   |
| 利谷 信義      |                 |   |
| 宮崎 良夫      |                 |   |
| 渡辺 治       |                 |   |
| 渡辺 洋三      |                 |   |

第26巻

|              |           |    |          |
|--------------|-----------|----|----------|
| 1号           | 1974.11.1 | 2号 | 1975.1.4 |
| 3・4合併号       | 1975.2.12 | 5号 | 1975.3.1 |
| <磯田進教授還暦記念号> |           |    |          |
| 6号           | 1975.3.27 |    |          |

論 説

|       |                                        |     |
|-------|----------------------------------------|-----|
| 宮崎 良夫 | 「法治国」の理念と現実(2)——プロイセン官僚制法治主義の特質——…………… | 1   |
| 本間 重紀 | 戦時経済法の研究(2)——国家的独占と経済法——……………          | 1   |
| 天川 晃  | 占領初期の政治状況——内務省と民政局の対応——……………           | 2   |
| 潮見 俊隆 | 法社会学における村落構造論——戦後法社会学史の一断——……………       | 3・4 |

|            |                                                                                                                                                                            |      |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 渡辺 洋三      | 入会の解体とその要因……………                                                                                                                                                            | 3・4  |
| 江守 五夫      | 村落類型論からみた農村家族の構造……………                                                                                                                                                      | 3・4  |
| 利谷 信義      | 農業資産相続特例法案とGHQ……………                                                                                                                                                        | 3・4  |
| 稲本洋之助      | 意識分析——相続と農業経営資産……………                                                                                                                                                       | 3・4  |
| 秋田 成就      | 労働契約における契約の推定操作について……………                                                                                                                                                   | 3・4  |
| 外尾 健一      | タフト・ハートレー法下のユニオン・ショップ制……………                                                                                                                                                | 3・4  |
| 望月礼二郎      | イギリスの危険物責任——ライラ<br>ンズ準則の消長——……………                                                                                                                                          | 3・4  |
| 吉野 悟       | ガイウス法学提要における自由身分の論理……………                                                                                                                                                   | 3・4  |
| 加藤 栄一      | ニューディール財政の成果と限界(1)……………                                                                                                                                                    | 5    |
| 毛利 健三      | 「自由貿易帝国主義」論争の意義<br>と限界——自由貿易物神崇拜批判<br>の視点から——……………                                                                                                                         | 5    |
| 田端 博邦      | フランスにおける労働者参加制度<br>(1)——企業委員会制度の成立と展<br>開——……………                                                                                                                           | 6    |
| 山本 潔       | 戦後危機における「大衆示威」運<br>動……………                                                                                                                                                  | 6    |
| 研究ノート      |                                                                                                                                                                            |      |
| 安保 哲夫      | W・A・ブラウンの戦間期アメリ<br>カ資本輸出論——W. A. Brown,<br>Jr., <i>The International Gold<br/>Standard Reinterpreted,</i><br><i>1914-1934</i> , NBER. N.Y.,<br>1940 (XXX+1,420p) より——…………… | 5    |
| 調査報告       |                                                                                                                                                                            |      |
| 手塚 和彰      | 昭和40年代における農村労働市<br>場変化の一事例(1)……………                                                                                                                                         | 6    |
| 資料紹介       |                                                                                                                                                                            |      |
| 佐藤 良雄      | 判例家族法の再検討のために——                                                                                                                                                            |      |
| 関 彌一郎      | 婚姻予約ないし内縁(2)(3)——……………                                                                                                                                                     | 1, 2 |
| 伊藤 隆       | 「江木千之・江木翼関係文書」<br>「小泉策太郎関係文書」……………                                                                                                                                         | 2    |
| 座談会        |                                                                                                                                                                            |      |
| 磯田 進(語り手)  | 研究生生活の回顧……………                                                                                                                                                              | 3・4  |
| 秋田 成就(聞き手) |                                                                                                                                                                            |      |
| 潮見 俊隆      |                                                                                                                                                                            |      |
| 利谷 信義      |                                                                                                                                                                            |      |
| 望月礼二郎      |                                                                                                                                                                            |      |
| 山口浩一郎      |                                                                                                                                                                            |      |
| 渡辺 洋三      |                                                                                                                                                                            |      |
| 江守 五夫(司 会) |                                                                                                                                                                            |      |

|                   |             |     |
|-------------------|-------------|-----|
| 磯田 進              | 法社会学と私…………… | 3・4 |
| 磯田進教授略歴・作品目録…………… |             | 3・4 |

## 第27巻

|                  |                                                        |        |           |
|------------------|--------------------------------------------------------|--------|-----------|
| 1号               | 1975.8.29                                              | 2号     | 1975.12.5 |
| 3号               | 1976.2.12                                              | 4号     | 1976.2.19 |
| 5・6合併号 1976.3.30 |                                                        |        |           |
| 論 説              |                                                        |        |           |
| 藤田 勇             | ソ連における経済改革と法(2)……………                                   | 1      |           |
| 田端 博邦            | フランスにおける労働者参加制度<br>(2)——企業委員会制度の成立と展<br>開——……………       | 1      |           |
| 木村 靖二            | ヴァイマル共和国におけるドイツ<br>保守派の解体……………                         | 2      |           |
| 伊藤 隆             | 「挙国一致」内閣期の政界再編成<br>問題(3)……………                          | 2      |           |
| 広渡 清吾            | 「第三帝国の法構造」試論——授<br>権法体制を中心として——……………                   | 3      |           |
| 加藤 栄一            | ニューディール財政の成果と限界(2)……………                                | 3      |           |
| 岡田 与好            | 自由放任主義と社会改革——「19<br>世紀行政革命」論争に寄せて——……………               | 4      |           |
| 竹村 英輔            | イデオロギーとしての協同体国家<br>——イタリア・ファシズム史の一<br>断面——……………        | 4      |           |
| 稲本洋之助            | 農地所有と公的介入(1)——フラン<br>スにおける1960年代以降の展開<br>——……………       | 5・6    |           |
| 石田 雄             | オーストラリアにおける労働組合<br>と政党……………                            | 5・6    |           |
| 手塚 和彰            | ドイツ団結法発展史論(中)——<br>団結の自由放任期における労働組<br>合と団結法——……………     | 5・6    |           |
| 研究ノート            |                                                        |        |           |
| 馬場 宏二            | 国家独占資本主義論をめぐって……………                                    | 2      |           |
| 和田 春樹            | 日露逃亡犯罪人引渡条約付属秘密<br>宣言書……………                            | 4      |           |
| 奥田 央             | ソビエト初期経済建設期における<br>「農工結合体」理念の展開と消滅……………                | 4      |           |
| 渡辺 治             | 1920年代における天皇制国家の<br>治安法制再編成をめぐって——治<br>安維持法成立史論——…………… | 5・6    |           |
| 資料紹介             |                                                        |        |           |
| 佐藤 良雄            | 判例家族法の再検討のために——                                        |        |           |
| 関 彌一郎            | 婚姻予約ないし内縁(4)(5)——……………                                 | 1, 5・6 |           |

書 評

- 藤瀬 浩司 柳沢治著『ドイツ三月革命の研究』…… 1  
 隅谷三喜男 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革』(全8巻)…… 2  
 西田 美昭 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革 6 農地改革』…… 2  
 楊井 克巳 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革 2 国際環境』…… 3  
 升味準之輔 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革 3 政治過程』…… 3  
 大島 清 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革 7 経済改革』…… 4  
 田中 英夫 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革 4 司法改革』…… 5・6  
 大内 秀明 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革 8 改革後の日本経済』…… 5・6

第28巻

- 1号 1976. 7. 24 2号 1976. 8. 31  
 3号 1976. 11. 2 4・5合併号 1977. 3. 2  
 <加藤俊彦教授還暦記念号>  
 6号 1977. 3. 22

論 説

- 山本 潔 東芝争議(1949年)の研究(1)(2)  
 (3)…… 1, 2, 6  
 稲本洋之助 フランスにおける夫婦財産関係法  
 の現代的展開…… 1  
 石田 雄 中村敬宇と福沢諭吉——西欧思想  
 への対応における二つの型——… 2  
 稲本洋之助 農地所有と公的介入(2)——フラン  
 スにおける1960年代以降の展開——… 2  
 原田 純孝 農地質貸借の法構造とその特質(1)  
 (2)——ナポレオン法典の成立過程  
 に見るその法律的社会的基础——… 3, 6  
 戸原 四郎 ヒルファディングの貨幣論の現実  
 的背景——オーストリーの通貨事  
 情との関連をめぐって——… 4・5  
 岡田 与好 自由貿易と教育改革——ロバート  
 ・ローのばあい——… 4・5  
 加藤 栄一 相対的安定期ドイツの地方債市場…… 4・5  
 安保 哲夫 1920年代アメリカ外国証券発行  
 の投機的性格——国内証券投機お  
 よび投資銀行の活動との関連にお  
 いて——… 4・5  
 山崎 広明 戦時下における在華北日本紡績会

- 社の経営動向に関する覚書…… 4・5  
 後藤 光蔵 稲作経営受委託の構造——農民層分  
 解の現段階——… 6

研究ノート

- 工藤 章 相対的安定期のドイツ化学工業…… 1  
 田中 慎一 保護国問題——有賀長雄・立作太  
 郎の保護国論争——… 2  
 池田 恒男 明治41年大審院「第三者」制限  
 連合部判決の意義——不動産物権  
 変動論の歴史的理解のために——… 2  
 吉田 克己 現代不動産賃貸借法制分析への一  
 視角——フランスを素材として——… 3

調査報告

- 柴垣 和夫 大学の移転統合・新設にともなう  
 地方行財政の諸問題…… 4・5

海外事情

- 渡辺 洋三 イギリスの社会と法…… 4・5

全体研究報告

- 斉藤 孝 イタリア・ファシズムの諸問題…… 3  
 有賀 弘 アバシーと抵抗——ドイツ教会闘  
 争をめぐって——… 3  
 大石嘉一郎 昭和恐慌と地方財政…… 4・5  
 書 評  
 田沼 肇 東京大学社会科学研究所編『戦後  
 改革 5 労働改革』…… 1  
 山之内 靖 和田春樹著『マルクス・エンゲル  
 スと革命ロシア』…… 6

座談会

- 加藤 俊彦(語り手) 研究生活を回顧して——金  
 渡辺 洋三(聞き手) 融史研究を中心に——… 4・5  
 大石嘉一郎  
 柴垣 和夫  
 山崎 広明  
 戸原 四郎(司 会)

- 加藤俊彦教授略年譜・著作目録…… 4・5

社 会 科 学 研 究 叢 書

- 1 宇野弘蔵 資本論入門(第1巻) 白晝書院 1948.1  
 2 有泉 亨 労働争議の法理 白晝書院 1948.3  
 3 高橋勇治 中国国民党と中国共 白晝書院 1948.3  
 産党  
 4 速藤湘吉 インフレーションと 白晝書院 1949.2  
 日本の財政  
 5 宇野弘蔵 資本論入門(第2巻) 白晝書院 1949.5

東京大学社会科学研究所研究叢書

|                             |         |         |                                        |         |         |
|-----------------------------|---------|---------|----------------------------------------|---------|---------|
| 第1冊 鶴飼 信成<br>行政法の歴史的展開      | 有斐閣     | 1952.12 | 第22冊 柴垣 和夫<br>日本金融資本分析                 | 東京大学出版会 | 1965. 9 |
| 第2冊 佐藤 功<br>憲法解釈の諸問題        | 有斐閣     | 1953. 7 | 第23冊 氏原正治郎<br>日本労働問題研究                 | 東京大学出版会 | 1966. 1 |
| 第3冊 大内 力<br>農業恐慌            | 有斐閣     | 1954. 3 | 第24冊 山本 潔<br>日本労働市場の構造                 | 東京大学出版会 | 1967. 2 |
| 第4冊 渡辺 洋三<br>農業水利権の研究       | 東京大学出版会 | 1954. 6 | 第25冊 井出 嘉憲<br>行政広報論                    | 勁草書房    | 1967. 8 |
| 第5冊 潮見 俊隆<br>農村の構造          | 岩波書店    | 1954.11 | 第26冊 稲本洋之助<br>近代相続法の研究                 | 岩波書店    | 1967. 3 |
| 第6冊 石田 雄<br>明治政治思想史研究       | 未来社     | 1954.11 | 第27冊 藤田 勇<br>ソビエト法理論史研究 1917~1937      | 岩波書店    | 1967. 3 |
| 第7冊 高柳 信一<br>近代プロイセン国家成立史序説 | 有斐閣     | 1954.12 | 第28冊 石田 雄<br>破局と平和                     | 東京大学出版会 | 1968.10 |
| 第8冊 石田 雄<br>近代日本政治構造の研究     | 未来社     | 1956. 6 | 第29冊 安良城盛昭<br>歴史学における理論と実証(第1部) 御茶の水書房 |         | 1969. 3 |
| 第9冊 加藤 俊彦<br>本邦銀行史論         | 東京大学出版会 | 1957. 3 | 第30冊 馬場 宏二<br>アメリカ農業問題の発生              | 東京大学出版会 | 1969. 7 |
| 第10冊 宇野 弘蔵編<br>地租改正の研究(上巻)  | 東京大学出版会 | 1957. 8 | 第31冊 氏原正治郎・高梨 昌<br>日本労働市場分析(上)         | 東京大学出版会 | 1971.10 |
| 第11冊 宇野 弘蔵編<br>地租改正の研究(下巻)  | 東京大学出版会 | 1958. 4 | 第32冊 氏原正治郎・高梨 昌<br>日本労働市場分析(下)         | 東京大学出版会 | 1971.12 |
| 第12冊 高橋 勇治<br>中国人民革命の研究     | 弘文堂     | 1957.10 | 第33冊 渡辺 洋三<br>法社会学研究 1 現代国家と行政権        | 東京大学出版会 | 1972. 2 |
| 第13冊 藤田 勇<br>社会主義的所有と契約     | 東京大学出版会 | 1957.11 | 第34冊 渡辺 洋三<br>法社会学研究 2 入会と法            | 東京大学出版会 | 1972. 3 |
| 第14冊 渡辺 洋三<br>法社会学と法解釈学     | 岩波書店    | 1959. 5 | 第35冊 渡辺 洋三<br>法社会学研究 3 農業と法            | 東京大学出版会 | 1972. 9 |
| 第15冊 潮見 俊隆<br>農村と基地の法社会学    | 岩波書店    | 1960. 4 | 第36冊 渡辺 洋三<br>法社会学研究 4 財産と法            | 東京大学出版会 | 1973. 3 |
| 第16冊 渡辺 洋三<br>土地・建物の法律制度(上) | 東京大学出版会 | 1960. 9 | 第37冊 藤田 若雄<br>日本労働争議法論                 | 東京大学出版会 | 1973. 3 |
| 第17冊 石田 雄<br>現代組織論          | 岩波書店    | 1961. 3 | 第38冊 馬場 宏二<br>世界経済 基軸と周辺               | 東京大学出版会 | 1973. 3 |
| 第18冊 小林 謙一<br>就業構造と農村過剰人口   | 御茶の水書房  | 1961. 3 | 第39冊 渡辺 洋三<br>法社会学研究 5 家族と法            | 東京大学出版会 | 1973. 9 |
| 第19冊 藤田 若雄<br>日本労働協約論       | 東京大学出版会 | 1961. 5 | 第40冊 渡辺 洋三<br>法社会学研究 6 憲法と法社会学         | 東京大学出版会 | 1974. 3 |
| 第20冊 渡辺 洋三<br>土地・建物の法律制度(中) | 東京大学出版会 | 1962. 4 | 第41冊 渡辺 洋三<br>法社会学研究 7 法社会学の課題         | 東京大学出版会 | 1974. 3 |
| 第21冊 加藤俊彦・大内力編著<br>国立銀行の研究  | 勁草書房    | 1963. 7 | 第42冊 和田春樹<br>マルクス・エンゲルスと革命ロシア          |         |         |



- 第43冊 山崎 広明  
日本化纖産業発達史論 東京大学出版会 1975.10
- 第44冊 渡辺 洋三  
現代法の構造 岩波書店 1975.11
- 第45冊 石田 雄  
日本近代思想史における法と政治 1976. 2

# 東京大学社会科学研究所研究報告

- 第1集 東京大学社会科学研究所編(代表者大河内一男)  
戦後労働組合の実態 日本評論社 1950. 3  
(大河内一男編 労働組合の生成と組織 東京大学出版会 1956. 再刊)
- 第2集 東京大学社会科学研究所編(代表者鶴飼 信成)  
行政委員会 日本評論社 1951. 5
- 第3集 東京大学社会科学研究所編(代表者有泉 亨)  
戦後宅地住宅の実態 東京大学出版会 1952. 6
- 第4集 東京大学社会科学研究所編(代表者有泉 亨)  
日本社会の住宅問題 東京大学出版会 1953.11
- 第5集 東京大学社会科学研究所編(代表者宇野 弘蔵)  
林業経営と林業労働 農林統計協会 1954. 4
- 第6集 大河内一男編  
日本労働組合論 有斐閣 1954. 6
- 第7集 大河内一男・氏原正治郎編  
労働市場の研究——中学校卒業生の就職問題——  
東京大学出版会 1955. 9
- 第8集 磯田 進編  
村落構造の研究——徳島県木屋平村——  
東京大学出版会 1955.12
- 第9集 有泉 亨編  
給与公営住宅の研究 東京大学出版会 1956. 3
- 第10集 高橋幸八郎・古島敏雄編  
養蚕業の発達と地主制——福島県伊達郡伏黒村実態調査報告——  
御茶の水書房 1958. 3
- 第11集 大河内一男・氏原正治郎・藤田若雄編  
労働組合の構造と機能 東京大学出版会 1959. 2
- 第12集 宇野 弘蔵編  
日本農村経済の実態 東京大学出版会 1961. 2
- 第13集 有泉 亨編  
集団住宅とその管理 東京大学出版会 1961. 4
- 第14集 高橋幸八郎編  
産業革命の研究 岩波書店 1965. 7
- 第15集 有泉 亨編

- ヨーロッパ諸国の団地管理 東京大学出版会 1967. 3
- 第16集 労働調査論研究会編 (代表者 氏原正治郎)  
戦後日本の労働調査 東京大学出版会 1970. 3
- 第17集 高柳信一・藤田 勇編  
資本主義法の形成と展開1——資本主義と営業の自由——  
東京大学出版会 1972.10
- 第18集 高柳信一・藤田 勇編  
資本主義法の形成と展開2——行政・労働と営業の自由——  
東京大学出版会 1972.12
- 第19集 高柳信一・藤田 勇編  
資本主義法の形成と展開3——企業と営業の自由——  
東京大学出版会 1973. 3
- 第20集 鈴木 圭介編  
アメリカ経済史 東京大学出版会 1972.12
- 第21集 岡田 与好編  
近代革命の研究(上) 東京大学出版会 1973. 8
- 第22集 岡田 与好編  
近代革命の研究(下) 東京大学出版会 1973. 8
- 第23集 渡辺 洋三編  
入会と財産区 勁草書房 1974.11
- 第24集 大石嘉一郎編  
日本産業革命の研究(上)——確立期日本資本主義の再生産構造——  
東京大学出版会 1975. 6
- 第25集 大石嘉一郎編  
日本産業革命の研究(下)——確立期日本資本主義の再生産構造——  
東京大学出版会 1975.10
- 第26集 東京大学社会科学研究所編  
現代社会主義——その多元的諸相——  
東京大学出版会 1977. 3

# 東京大学社会科学研究所調査報告

- 第1集 石炭業における技術革新と労務管理 1960
- 第2集 造船業における技術革新と労務管理 1960
- 第3集 造船業における社外企業の性格と諸類型 1963
- 第4集 造船業における労働市場の構造 1964
- 第5集 造船業における労働市場と賃金 1965
- 第6集 京葉地帯における工業化と都市化 1965
- 第7集 都市における被保護層の研究 1966
- 第8集 沿岸漁業と漁村社会の研究 1967  
——長崎県・茨城県・千葉県の実態調査——
- 第9集 都心地における宅地住宅の変遷 1968
- 第10集 沿岸漁村の近代化に関する研究 1969  
——広島県・愛媛県・岩手県の実態調査——

|      |                    |      |
|------|--------------------|------|
| 第11集 | 倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有 | 1970 |
|      | 第一部                |      |
| 第12集 | 倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有 | 1970 |
|      | 第二部                |      |
| 第13集 | 戦後初期労働争議調査         | 1971 |
| 第14集 | 総理大臣演説の内容分析        | 1971 |
| 第15集 | 漁業紛争の法社会学的研究       | 1974 |

# 東京大学社会科学研究所資料

(第1集～第4集は調査資料)

|     |                           |      |
|-----|---------------------------|------|
| 第1集 | 大内 力                      |      |
|     | 農業災害補償制度の実態               | 1957 |
| 第2集 | 大内 力・陣峻衆三                 |      |
|     | 肥料消費構造の研究                 | 1957 |
| 第3集 | 嘉治真三・鈴木圭介                 |      |
|     | 1957年アメリカ合衆国農民経済階層に関する統計集 | 1960 |
| 第4集 | ソ連邦の社会保障                  | 1963 |
| 第5集 | 1791年憲法の資料的研究             | 1972 |
| 第6集 | 戦後危機における労働争議 1            |      |
|     | ——読売新聞争議——                | 1973 |
| 第7集 | 戦後危機における労働争議 2            |      |
|     | ——続・読売新聞争議——              | 1974 |

# 東京大学社会科学研究所資料叢書

|     |                 |             |
|-----|-----------------|-------------|
| 第1集 | 貴族院多額納税者議員互選人名簿 |             |
| 第1冊 | (新潟県)           | 御茶の水書房 1970 |
| 第2冊 | (東京府)           | 御茶の水書房 1970 |
| 第3冊 | (千葉県)           | 御茶の水書房 1970 |
| 第4冊 | (山梨県)           | 御茶の水書房 1970 |
| 第5冊 | (群馬県)           | 御茶の水書房 1971 |

# 東京大学社会科学研究所

## 文献資料目録

|         |                           |      |
|---------|---------------------------|------|
| 第1冊     | 東京大学所蔵ロシア・ソヴェト<br>関係図書目録  | 1958 |
| 第2冊(I)  | 同                         | 1959 |
| 第2冊(II) | 同                         | 1959 |
| 第3冊     | ニュー・ディール政策文献目録(経済編)       | 1960 |
| 第4冊(I)  | 極東国際軍事裁判記録<br>「検察側証拠書類」目録 | 1971 |
| 第4冊(II) | 極東国際軍事裁判記録                |      |

「弁護側証拠書類」目録 1972

|          |                                 |      |
|----------|---------------------------------|------|
| 第4冊(III) | 極東国際軍事裁判記録<br>「総記編」目録           | 1973 |
| 第5冊      | 「旧労働法」立法関係資料等目録<br>——松岡三郎教授資料—— | 1976 |

# ANNALS OF THE INSTITUTE OF SOCIAL SCIENCE

No. 7 (1966) — No. 18 (1977)

№1(1953), №2(1956), №3-6(1962-65)  
は Social Science Abstracts の誌名の下に『社会  
科学研究』掲載の主な論文および社会科学研究所の刊行  
物(単行本)の英文要旨を掲載した。また, №7以降の  
各号にも, 社会科学研究所の刊行物(単行本)の英文要  
旨が掲載されているが, 以下では省略。

## No. 7 (1966)

|                                                                                                       |                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| Popular Attitudes Toward the Japanese<br>Emperor .....                                                | ISHIDA Takeshi |
| Development of Japanese Banking System .....                                                          | KATO Toshihiko |
| Development of the Agricultural Production<br>& Its Productivity in the Tokugawa Shogu-<br>nate ..... | ARAKI Moriaki  |

## No. 8 (1967)

|                                                                                                              |                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| Urbanization & Its Impact on Japanese Poli-<br>tics: A Case of a Late & Rapidly Deve-<br>loped Country ..... | ISHIDA Takeshi      |
| La Révolution française et le Jacobinisme<br>dans l'historiographie japonaise .....                          | TAKAHASHI Kohachiro |

## No. 9 (1968)

|                                                                                       |                |
|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| Profit & the Socialist Economy .....                                                  | UDAKA Motosuke |
| Japanese Public Opinion & Foreign Policy --<br>Present Aspects & Future Outlook ..... | ISHIDA Takeshi |
| Komeito: Its Political Characteristics .....                                          | ARUGA Hiroshi  |

## No. 10 (1969)

|                                                                       |                 |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------|
| Some Problems of Political Parties in the<br>Meiji Era .....          | HAYASHI Shigeru |
| La Restauration de Meiji au Japon et la<br>Révolution Française ..... |                 |

- .....TAKAHASHI Kohachiro  
The Peculiarity of Labor Market in Japan  
with Special Reference to the Tokyo-  
Yokohama Industrial Area .....  
..... UJIHARA Shojiro

No. 11 (1970)

- Industrialization & Agriculture: A Critique  
of Prof. S. Kuznets' Emphasis on Agricul-  
ture in the Process of Industrialization  
..... OKADA Tomoyoshi  
Contemporary Problems of Medical Law in  
Japan ..... BAI Koichi  
Japan's Changing Image of Gandhi.....  
..... ISHIDA Takeshi  
The Management of Local Government .....  
..... IDE Yoshinori

No. 12 (1971)

- Management & Politics in Local Government  
..... IDE Yoshinori  
A Content Analysis of Chief Justice of the  
Supreme Court Kotaro Tanaka's Speeches  
..... ISHIDA Takeshi  
Differentiation of the Peasantry & Peasants'  
Movements in the Process of Disintegration  
of Feudal & Seignorial Land Property in  
Japan ..... OISHI Kaichiro  
Researches on Labor Problems in Postwar Japan  
..... Study Group on Labor Problems  
Administrative Implications of Population  
Growth; the Japanese Case .....  
..... TACHI Minoru & IDE Yoshinori

No. 13 (1972)

- High Growth and Supply of Funds in the Post-  
war Japanese Economy.....KATO Toshihiko  
The Decision-Making Process of the Regional  
Development Policy ..... IDE Yoshinori  
Legal Aspects of Union Democracy .....  
..... YAMAGUCHI Koichiro  
The Production Control Struggle in the  
Period of Postwar Crisis.....  
..... YAMAMOTO Kiyoshi  
The Manchurian Incident and 'Inter-Racial  
Harmony' ..... MATSUZAWA Tetsunari

No. 14 (1973)

- China's Control Policy & Its Characteristics

- in the Rehabilitation Period of the Na-  
tional Economy..... FURUSHIMA Kazuo  
The Rise of Modern Economic History .....  
..... OKADA Tomoyoshi  
Some Preparatory Notes on the Peace Preser-  
vation Law in Prewar Japan .....  
..... OKUDAIRA Yasuhiro  
The Logic of Japanese Imperialism .....  
..... SHIBAGAKI Kazuo

No. 15 (1974)

- Judges in Japan ..... USHIOMI Toshitaka  
Family and Law in Modern Japan.....  
..... WATANABE Yozo  
The Russian February Revolution of 1917  
..... WADA Haruki  
History of Marxist Legal Theory in Japan:  
Some Aspects ..... FUJITA Isamu

No. 16 (1975)

- Universalism in Late Kokugawa Japan: The  
'Confucian' Thought of Yokoi Shonan .....  
..... HIRAISHI Naoaki  
The Formation and Development of the Japa-  
nese 'New Left' Groups: A Historical  
Survey of Their Organizations .....  
..... TOTSUKA Hideo

No. 17 (1976)

- Japan's Modern Legal System: Its Formation  
and Structure.....TOSHITANI Nobuyoshi  
'Mass Demonstration' Movements in the Period  
of Postwar Crisis.....YAMAMOTO Kiyoshi  
Korean Immigration in Prewar Japan.....  
..... TOTSUKA Hideo  
Elements of Tradition and 'Renovation', in  
Japan During the 'Era of Fascism'.....  
..... ISHIDA Takeshi  
Japan's Industrial Revolution: Its Evolution  
and Characteristic Features .....  
..... OISHI Kaichiro

No. 18 (1977)

- Citizen Movements against Industrial Pollu-  
tion: Case Study of Fuji City, Japan ...  
..... Vishwanathan, Savitri  
Legislation and Actual Developments concern-  
ing Inheritance of Agricultural Property  
in Postwar Japan .....

..... TOSHITANI Nobuyoshi  
Karl Marx and Revolutionary Russia .....  
..... WADA Haruki

## 全体研究の成果の刊行

- 京葉地帯における工業化と都市化 1965.3.30  
総論 (遠藤湘吉・井出嘉憲)  
第Ⅰ編 財政・金融 (遠藤湘吉・加藤栄一・加藤俊彦・柴垣和夫・志村嘉一・林健久)  
第1章 都市化・工業化と千葉県財政  
第2章 旧市原町の財政  
第3章 工業化と千葉県金融  
第Ⅱ編 土地造成・水利 (戸原四郎・柴垣和夫・高柳信一・佐藤竺・渡辺洋三)  
第1章 臨海部における土地造成の経済的諸問題  
第2章 企業誘致土地造成事業の法的構造  
第3章 工業用水と農業用水  
第Ⅲ編 農業・漁業・家族 (安良城盛昭・伊藤喜雄・潮見俊隆・利谷信義)  
第1章 京葉工業地帯の展開と農業構造の変貌  
第2章 漁業補償  
第3章 農漁業家族に対する工業化の影響  
第Ⅳ編 工業・労働 (氏原正治郎・高梨昌・藤田若雄・伊藤三次)  
序章 問題の所在と限定  
第1章 工業化と労働移動  
第2章 新規卒業者労働市場と学校教育  
第3章 臨海部進出企業の労働問題  
第Ⅴ編 住宅 (有泉亨・山口浩一郎・佐藤良雄・山田卓生)  
序章  
第1章 千葉県の住宅事情  
第2章 ベッド・タウン地区と工業化地区の比較  
第3章 住宅供給の実態  
第4章 辰巳団地  
第5章 給与住宅  
第Ⅵ編 政治 (井出嘉憲・辰巳光世・伊藤隆)  
第1章 工業化をめぐる政策決定過程  
第2章 戦後千葉県における選挙と政党

## 基本的人権の研究(全5巻)

第1巻 総論 1968.3.26

高橋八郎右衛門 序

- 高柳 信一 近代国家における基本的人権  
小林 直樹 現代国家と人権——立憲制の人権保障機能の検討——  
渡辺 洋三 現代資本主義と基本的人権  
芦部 信喜 私人間における基本的人権の保障  
針生 誠吉 人権保障における近代立憲主義型と社会主義型——その原理的試論——  
柴垣 和夫 資本主義経済と基本的人権——諸権利と経済との距離——  
藤田 勇 社会主義社会と基本的人権  
第2巻 歴史Ⅰ 1968.7.10  
Ⅰ 日本  
石田 雄 日本における法的思考の発展と基本的人権  
奥平 康弘 明治憲法における自由権法制——その若干の考察——  
大石嘉一郎 自由民権運動の「基本的人権」論とその基盤  
利谷 信義 明治前期の人権と明治憲法  
加藤 俊彦 経済統制法と財産権(その一)  
渡辺 洋三 経済統制法と財産権(その二)  
潮見 俊隆 日本における人権侵害事件の実態とその処理状況  
Ⅱ イギリス  
下山 英二 イギリス法における基本権——「人身の自由」の制度的定着過程について——  
堀部 政男 イギリス革命と人権——「営業の自由」の成立過程——  
Ⅲ アメリカ  
鈴木 圭介 アメリカ独立戦争と人権宣言  
井出 嘉憲 アメリカにおける投票の権利と平等の代表——代表再配分の問題を中心に——  
第3巻 歴史Ⅱ 1968.9.10  
Ⅳ フランス  
野田 良之 基本的人権の思想史的背景——とくに抵抗権理論をめぐる——  
稲本洋之助 1789年の「人および市民の権利の宣言」——その市民革命における位置づけ——  
Ⅴ ドイツ  
奥平 康弘 ドイツの「基本権」観念——その成立にかんする若干の考察——  
影山日出弥 ヴァイマル憲法における「社会権」  
戸原 四郎 ヴァイマル体制と失業問題  
Ⅵ ロシア・ソビエト  
和田 春樹 近代ロシア社会の法的構造  
藤田 勇 ロシア革命と基本的人権

- 宇高 基輔 「全人民国家」についての一考察  
 VII 中国  
 古島 和雄 旧中国の人権問題と基本権思想——人民民主独裁論との関連において——  
 浅井 敦 中国社会主义法秩序の形成と公民の基本権  
 針生 誠吉 中国における法的保障の位置づけ——大躍進からプロレタリア文化大革命まで——

第4巻 各論I 1968.12.25

I 人身の自由

- 吉川 経夫 日本における罪刑法定主義の沿革  
 内田 力蔵 イギリス法における「個人的自由の権利」について——ブラックストンの「絶対権」の觀念を中心とするひとつの覚え書き——  
 堀部 政男 人身の自由の手續法的保障——ヘイピアス・コーパスの人身保護令狀的機能の成立史——

II 表現の自由

- 芦部 信喜 現代における言論・出版の自由——その機能と限界の一断面——  
 奥平 康弘 言論の自由と司法審査——戸別訪問禁止規定をめぐる——  
 隅野 隆徳 集団示威運動の自由  
 稲本洋之助 19世紀フランスにおける「出版の自由」——とくに定期刊行物をめぐる法的規制について——

III 学問の自由

- 高柳 信一 学問の自由と大学の自治  
 山崎 真秀 戦前日本における「学問の自由」

第5巻 各論II 1969.3.25

IV 信教の自由

- 有賀 弘 宗教的寛容——信仰の自由の思想史的背景——  
 山田 卓生 信教の自由——最近のアメリカにおける展開——

V 財産権・営業の自由

- 遠藤 湘吉 私有財産権の課税  
 高橋幸八郎 営業の自由——その成立の歴史的條件——  
 岡田 与好 「営業の自由」と、「独占」および「団結」

VI 労働権

- 有泉 亨 労働基本権の構造  
 氏原正治郎 労働基本権の経済的基礎  
 藤田 若雄 争議法理論の法社会学的研究——労使対抗関係の特質に注目して——  
 磯田 進 公務員のストライキ権に関する判例法の展開——批判と展望——

- 山口浩一郎 労働組合における組合員の権利——組合民主主義の法的側面——  
 氏原正治郎 社会保障の権利意識  
 石川 晃弘  
 下田平裕生

戦後改革（全8巻）

第1巻 課題と視角 1974.3.20

- 高柳 信一 序文  
 大内 力 戦後改革と国家独占資本主義  
 大石嘉一郎 戦後改革と日本資本主義の構造変化——その連続説と断絶説——  
 渡辺 洋三 戦後改革と日本現代法  
 石田 雄 戦後改革と組織および象徴  
 篠原 一 戦後改革と政治カルチャー  
 宮崎 隆次  
 依田 精一 戦後家族制度改革と新家族観の成立

第2巻 国際環境 1974.10.11

- 戦後改革研究会 はしがき  
 斉藤 孝 アメリカの対外政策と日本占領  
 和田 春樹 ソビエト連邦の対日政策  
 戸原 四郎 西ドイツにおける戦後改革  
 稲本洋之助 フランスにおける戦後改革——憲法制定国民議会期の国有化問題を中心として——  
 戸塚 秀夫 イギリスの戦後改革への道——労使関係の枠組を中心にして——  
 馬場 宏二 戦前・戦後の世界経済——日本賠償問題に関連して——

加藤 栄一 国際通貨制度の改革構想

第3巻 政治過程 1974.12.10

- 戦後改革研究会 はしがき  
 辻 清明 戦後改革と政治過程  
 松下 圭一 戦後憲法の理論構成  
 清水 睦 憲法「改正」と議会制度改革  
 柚 正夫 選挙制度改革  
 井出 嘉憲 戦後改革と日本官僚制——公務員制度の創出過程——  
 天川 晃 地方自治制度の改革  
 星野安三郎 警察制度の改革  
 荒瀬 豊 占領統治とジャーナリズム  
 奥平 康弘 放送法制の再編成——その準備過程——

第4巻 司法改革 1975.7.10

- 戦後改革研究会 はしがき  
 潮見 俊隆 日本の司法制度改革  
 利谷 信義 戦後改革と国民の司法参加——陪審制・参

審制を中心として——

- 小田中聡樹 刑事裁判制度の改革  
高柳 信一 行政訴訟法制の改革  
宮崎 良夫 ドイツ連邦共和国の行政裁判制度改革——  
ナチス体制からボン基本法にかけて——

江藤 价泰 フランスの司法制度改革

#### 第5巻 労働改革 1974.7.10

戦後改革研究会 はしがき

戸塚 秀夫 戦後日本の労働改革

山本 潔 戦後危機の展開過程——時期区分を中心と  
して——

竹前 栄治 アメリカの初期対日労働政策

山本 潔 「産業再建」と諸政治主体

手塚 和彰 旧労働組合法の形成と展開——初期労働委  
員会の機能分析を中心として——

早川征一郎 官公労使関係の生成と展開——国鉄・郵政  
における権利関係を中心として——

氏原正治郎 戦時労働論覚書

#### 第6巻 農地改革 1975.2.24

戦後改革研究会 はしがき

大石嘉一郎 農地改革の歴史的意義

上原 信博 農地改革過程と農地改革論

渡辺 洋三 農地改革と戦後農地法

吉田 克己 農地改革法の立法過程——農業経営規模問  
題を中心として——

小林 三衛 農地改革と行政過程

石田 雄 農地改革と農村における政治指導の変化

田中 学 農地改革と農民運動

利谷 信義 農地改革と土地改良法の成立

大内 力 農地改革後の農業の発展

原田 純孝 フランスにおける農地賃貸借制度改革

#### 第7巻 経済改革 1974.5.20

戦後改革研究会 はしがき

加藤 俊彦 改革期の日本経済

柴垣 和夫 財閥解体と集中排除

小湊 繁 企業再建整備

高橋 誠 財政制度改革

林 健久 シャウブ勧告と税制改革

遠藤 湘吉 政府間の財政調整(1)——地方財政調整制度  
の変遷——

加藤 俊彦 金融制度改革

志村 嘉一 証券制度改革

#### 第8巻 改革後の日本経済 1975.7.25

戦後改革研究会 はしがき

大内 力 高度成長経済の対外関係

柴垣 和夫 産業構造の变革

加藤 俊彦 資本蓄積と金融市場——貸付市場を中心に  
——

志村 嘉一 資本蓄積と証券市場

田中 学 労働力調達機構と労使関係

林 健久 健全財政主義——成立・展開・崩壊

渡辺 洋三 石油産業と戦後経済法体制

山崎 広明 戦後改革と化繊産業

戦後雑誌目次総覧——政治・経済・社会——

東京大学社会科学研究所戦後改革研究会編

東京大学出版会刊 上巻 1976.3

下巻 1977年刊行予定

本書は全体研究「戦後改革」の一環として、占領下に  
発行された人文・社会関係の雑誌の目次を年次別・雑誌  
別に整理し、執筆者名索引を付したものである。

### その他の出版物

社会科学研究所創立15周年記念論文集

社会科学の基本問題 上・下巻 1963.3

上巻

序

第1篇 農業・土地所有の諸問題

高橋幸八郎 比較土地制度論考——共同体規範の解体と  
の関連における——

岡田 与好 イギリス農業革命論の現状——T・S・ア  
シュトンの所論に即して——

鈴木 圭介 19世紀末アメリカにおける巨大農業経営  
の歴史的性格——いわゆる「ボナンザ・フ  
ーム」の成立と消滅——

遅塚 忠躬 18世紀フランスの農民の土地所有——ノ  
ルマンディの一個別調査報告

藤瀬 浩司 ドイツ東部における地主大農業の近代化の  
構造——18世紀後半から19世紀80年  
代までの経営記録の検討——

安良城盛昭 幕末期泉州における小作農の存在形態——  
自立的小作農民経営形成の困難性とその過  
渡的性格をめぐって——

古島 和雄 中国における農民的土地所有の形成とその  
集団的所有への展開

第2篇 独占資本をめぐる諸問題

遠藤 湘吉 金融資本論の方法にかんする一考察——宮  
本義男氏の所論にふれて——

大内 力 国家独占資本主義論ノート

- 戸原 四郎 第一次大戦前のドイツの資本輸出  
 宇高 基輔 ロシアにおける国家独占資本主義——ソヴ  
 和田 春樹 エト史学の最近の動向について——  
 嘉治 真三 アメリカ合衆国における企業合同の発展  
 石崎 昭彦 アメリカ帝国主義にかんする一考察——ア  
 メリカの対フィリピン経済政策の分析——  
 加藤 俊彦 財閥における銀行の役割  
 林 健久 明治前期の株式会社——日本金融資本分析  
 の一前提  
 柴垣 和夫 産業資本段階の日本資本主義と「財閥」  
 ——1890年代の紡績業と三井・三菱——  
 暉峻 衆三 独占段階への移行期における日本の農業問  
 題
- 第3篇 労使関係の諸問題  
 大河内一男 日本の労使関係の原型——第一次大戦後の  
 「工場委員会」をめぐる——  
 氏原正治郎 日本の労働組合  
 藤田 若雄 昭和29年以降の労働組合運動  
 塩田庄兵衛 国鉄労組新潟地本の第二組合問題  
 関谷 嵐子 医療産業の労使関係——病院争議分析序論  
 ——  
 磯田 進 ピケット権の限界についての裁判所的思惟  
 ——特に三友炭鉱・羽幌炭鉱両事件を比較  
 しつつ——  
 有泉 亨 労働基準法における二、三の総則的問題  
 秋田 成就 労働基準法と権利意識の問題——若干の実  
 態調査を中心として——  
 小林 謙一 運輸労働者の社会的性格——その作業種別  
 分析——  
 小池 和男 職員層の形成と賃金問題
- 下巻  
 第4篇 市民社会と私法の諸問題  
 渡辺 洋三 現代財産法学の課題  
 喜多川篤典 法人理論の問題性——実在説的考え方を批  
 判する方法——  
 有泉 亨 生産物責任論序説  
 吉野 悟 Ager Compascuus——古代ローマ土地法  
 にあられる「共同放牧地」——  
 望月礼二郎 イギリス法における入会権  
 藤田 勇 社会主義と民法——ソ連における民法典論  
 争史をめぐる——  
 利谷 信義 戦後の農家相続論覚書——その展望と問題  
 点——  
 江守 五夫 家族史研究と唯物史観——青山・玉城論争  
 を中心として——  
 内田 力蔵 イギリスの家族法における子の地位——二  
 つの委員会の報告を中心とする覚書——  
 稲本洋之助 農業経営資産と相続——フランス民法典に  
 おけるその解決——  
 潮見 俊隆 東欧諸国の家族と家族法
- 第5篇 国家と公法の諸問題  
 高柳 信一 公法と私法——わが国行政法諸原理の批判  
 的考察——  
 下山 英二 イギリス行政手続法の法理  
 奥平 康弘 最近の合衆国最高裁判所をめぐる論議につ  
 いて——現代における基本的人権保障制度  
 の一考察のために——  
 井出 嘉憲 アメリカにおける行政理論の転換過程——  
 その歴史的展望と現代における基本動向  
 ——  
 浅井 敦 行政救済の中国的方式とその特色  
 石田 雄 戦後日本の政治と政治学  
 林 茂 小選挙区法覚えがき——大正8年の場合——  
 小山 博也 制限選挙制度下における政党支部組織——  
 埼玉県政友会支部について——  
 伊藤 隆 明治17—23年の立憲改進黨——国会開  
 設以前における政党の一考察——  
 高橋 勇治 社会主義国家における人民の基本権——と  
 く中国を中心にして——  
 辰巳 光世 思想史学の方法——A・O・ラブジョイを  
 中心に——  
 萩原 宜之 アーモンド＝コールマン理論の構造と位置  
 づけ——新興国家の政治分析の方法論とし  
 て——